



Password Depot

パスワード デポ

スタートアップガイド

Windows 版

開発元 : AceBIT GmbH

目次

| | |
|--|----|
| はじめに | 3 |
| Password Depot のご紹介 | 4 |
| Password Depot のインターフェース | 5 |
| システム必要条件・注意事項 | 6 |
| ライセンスについて | 6 |
| 試用版、フリーウェアモードについて | 6 |
| フリーウェアモード | 6 |
| Password Depot、および日本語ファイルのダウンロード | 6 |
| Password Depot のインストール | 7 |
| ライセンスキー情報の投入（フルバージョンへの移行） | 12 |
| Password Depot のアンインストール | 12 |
| Password Depot の使用 | 13 |
| 使用を始める前に | 13 |
| 日本語ファイルの適用 | 14 |
| データベースの作成開始方法 | 16 |
| ローカルシステムへの作成 | 17 |
| USB ストレージデバイスへの作成 | 18 |
| クラウドストレージへの作成 | 19 |
| 新しいデータベースの作成 | 21 |
| マスターパスワードによる認証 | 21 |
| マスターパスワードとキーファイルによる認証 | 25 |
| キーファイルによる認証 | 30 |
| パスワード情報の追加 | 34 |
| Web サイト用のパスワード | 34 |
| ファイルパスワード | 38 |
| 設定したパスワードの編集 | 41 |
| 設定したパスワードの削除 | 42 |
| パスワードの使用 | 43 |
| マスターパスワードの変更、認証方法の変更 | 45 |
| オプション | 47 |
| 全般 | 47 |
| 動作 | 48 |
| トップバー | 50 |
| パスワード | 51 |
| 保存 | 52 |
| クリップボード | 53 |
| レイアウト | 54 |
| ネットワーク | 55 |
| ブラウザ | 56 |
| 警告 | 58 |
| デフォルト設定に戻すボタン | 58 |
| データベースファイルの詳細設定（パスワードポリシー） | 59 |

| | |
|-----------------------|----|
| 便利な機能..... | 60 |
| パスワード生成機能 | 60 |
| バックアップ..... | 61 |
| バックアップからの復元 | 61 |
| フォルダの作成 | 63 |
| データベースの切り替え | 63 |
| インポート..... | 65 |
| 検索..... | 66 |
| 分析（パスワードアナライザー） | 66 |
| お問い合わせ | 67 |

はじめに

この度は Password Depot をご使用いただき、誠にありがとうございます。

Password Depot は、Web サイトで使用するユーザーID・パスワードをはじめ、ファイルパスワードなどの情報を管理できます。マスターパスワードを覚えるだけで、あとは Password Depot がパスワード情報を安全に管理します。パスワードの保存先は、ローカルドライブ以外にも多くのクラウドサービスにも対応しています。

本書は、Windows 版 Password Depot の新規インストールから利用いただくまでを記述しております。また、本書は、Password Depot 12 以降を対象としております。

Password Depot をご使用いただく際に、本書をお役立ていただけると幸いです。

Password Depot のについては、<https://www.password-depot.jp/> をご参照ください。

ご注意

本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。

本ソフトウェア、及び本書を運用いただき生じた結果につきましては、一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

著作権

Copyright © 1998-2019 by AceBIT GmbH - All rights reserved.

Copyright © 2019 TechnoBlest Inc. All Rights Reserved.

このマニュアルの一部、または全てを許可なく複写する事はできません。

商標

Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名等は各社の登録商標、または商標です。

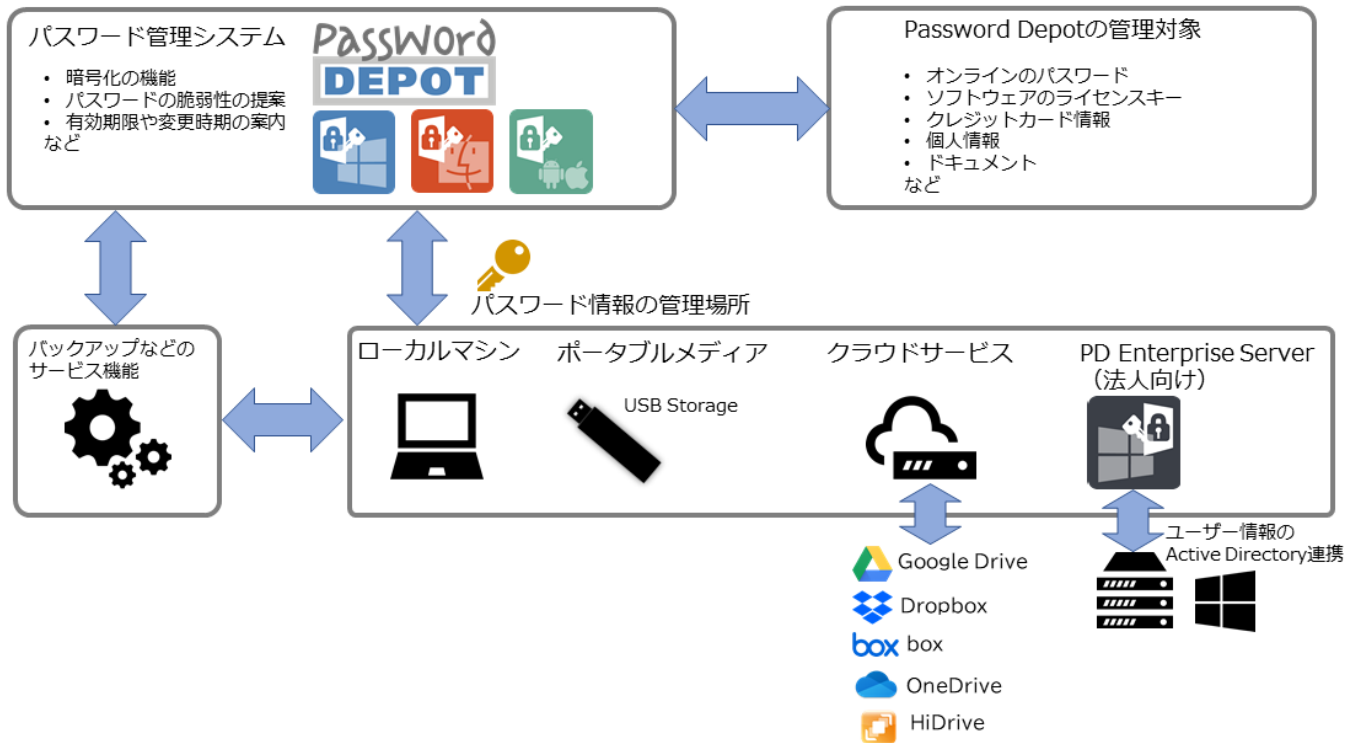
Password Depot のご紹介

Password Depot は、Web サイトで使用するユーザーID・パスワード、パスワード保護されたファイルのパスワード、クレジットカード情報、ソフトウェアライセンス情報など、お客様の情報を暗号化されたデータベースに保存します。

データベース作成時に設定するマスターパスワード（キーファイル、およびマスターパスワード・キーファイルの両方）を覚えるだけで、あとは Password Depot が、お客様の情報を安全に管理します。

データベースの保存先は、ローカルドライブ以外にも多くのクラウドサービスにも対応しています。

第三者のサービスに依存することなく、お客様の情報を安全に管理、運用いただくことができます。

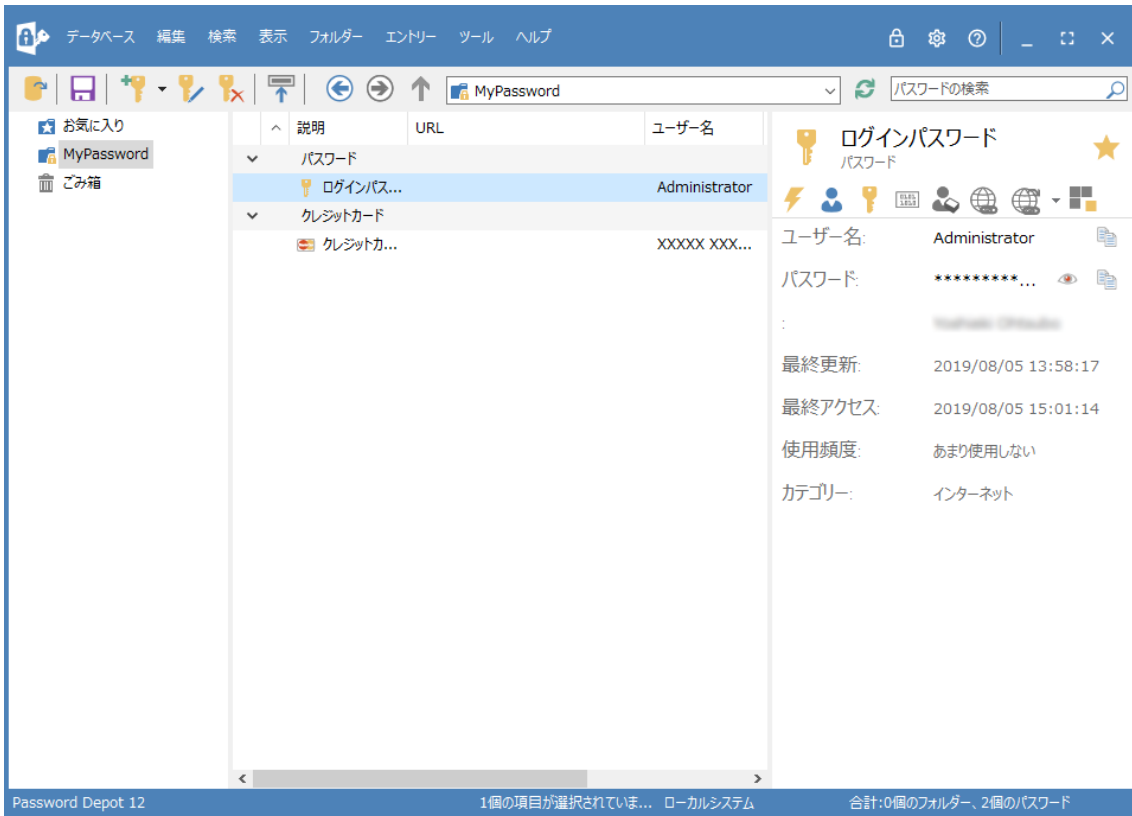


その他にも以下のような特徴的な機能を持っています。

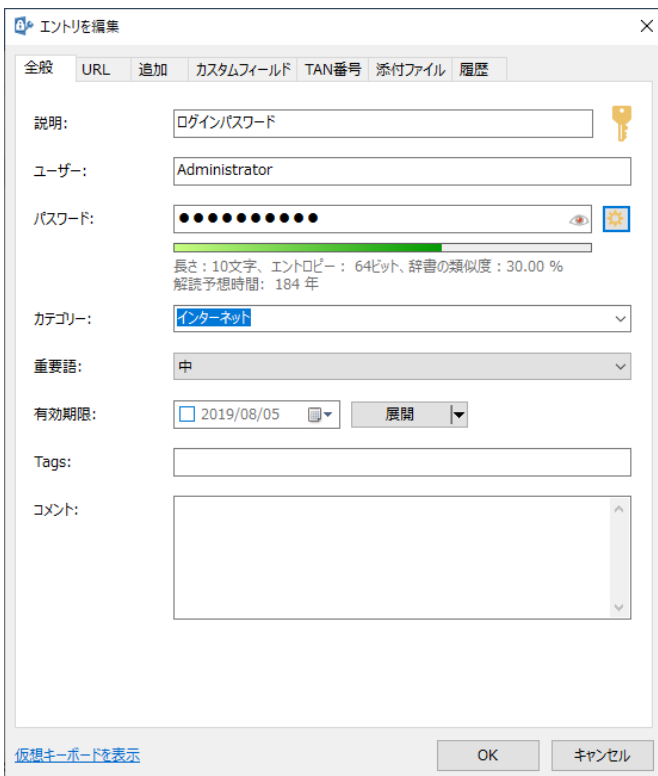
- 自動バックアップ
パスワード情報が保存されたデータベースは、非常に重要です。データベースファイルが破損した場合などに備えて Password Depot は、パスワードデータベースの自動保存ができます。保存場所や保存間隔は任意に設定することができます。
- パスワード生成機能
文字数、大文字小文字の使用、特殊記号の使用などのポリシーを設定できるパスワード生成機能を持っています。強固なパスワードの作成、Web サイトのパスワードポリシーにあったパスワードの作成をサポートします。
- オートコンプリート
ブラウザ、パスワード保護されたファイルなどで使用できるオートコンプリート機能を持っています。Password Depot メインウィンドウから、オートコンプリートボタンをクリックして、入力項目をクリックするだけで、エントリーを自動的に入力します。入力項目、タブ設定などもカスタマイズ可能ですので、Web サイトに合わせて設定できます。
- フィールドのカスタマイズ
ID、パスワード以外にも、お客様が必要とする項目を任意で追加することができます。インターネットバンキングなどで、複数のパスワード項目を持つ場合などに有用です。
- 暗号化ファイルの作成
Password Depot で複合化できるパスワード付き暗号化ファイルを作成できます。作成したファイルのパスワードを

Password Depot へ登録されるため、パスワードを忘れてしまうことを防止することができます。また、Password Depot を持たないユーザーへ配布する際に使用できる、自己解凍型暗号化ファイルの作成もサポートしています。

Password Depot のインターフェース



メインウィンドウ



エントリーの詳細

システム必要条件・注意事項

Password Depot は多くのシステムリソースを使用しませんが、Windows が快適に動作する環境でご利用ください。

- 対応 OS : Windows7、Windows 8、Windows 10
- メモリ : 4GB 以上
- HDD : プログラム、データベース、バックアップにより HDD 容量を使用
- 対応クラウドストレージ : Google Drive、OneDrive、Dropbox、Box、HiDrive (その他に FTP サーバをサポート)
- インストーラーは、英語版となります。
インストール完了後に、日本語ファイルを適用すること日本語版としてご利用いただけます。

ライセンスについて

ご購入いただきましたライセンスキーを製品にご登録 (アンロック) いただくことで、試用版の制限が解除されフルバージョンとして使用いただくことができます。

アンロックは、Password Depot のヘルプメニュー内から実施いただくことができます。

製品のご購入に関する情報は、<https://www.password-depot.jp/> をご参照ください。

ご購入、または所有いただいておりますライセンスに関するお問い合わせは、sales@technoblest.com まで電子メールをお送りください。

試用版、フリーウェアモードについて

ライセンスを登録しない状態では、Password Depot は、試用版として 30 日間すべての機能をご利用いただけますが、この試用版では、保存できるパスワードが 20 個までに制限されています。

試用期間終了後、継続して Password Depot を使用するには、2 つの方法があります。

- I. ご購入いただきライセンスキーの投入によりフルバージョンを使用
- II. フリーウェアモードでの使用

フリーウェアモード

管理できるパスワードは 20 個までとなります。パスワードリストに 20 個を超えるパスワードが含まれている場合、パスワードを追加したり、既存のパスワードを編集したりすることはできません。追加または変更できるようにするには、パスワードが 20 個以下である必要があります。

フリーウェアモードで使用できるパスワードデータベースは、1 つだけです。(他の psw ファイルを開くことはできません) また、一部の機能は使用できません。

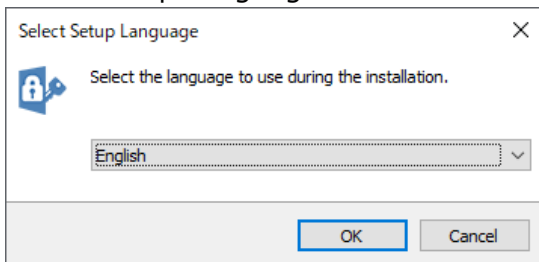
Password Depot、および日本語ファイルのダウンロード

Password Depot、および日本語ファイルは、<https://www.password-depot.jp/> のダウンロードページよりダウンロードいただくことができます。日本語インターフェースをご利用いただくには、日本語ファイルが必要となります。Password Depot のインストーラーとあわせて事前にダウンロードしてください。

ダウンロードいただけます最新バージョンの Password Depot インストーラー、および日本語ファイルをご利用いただくことを推奨いたします。(テクノプレストでサポートいたします Password Depot のバージョンは、12.0 以降となります。)

Password Depot のインストール

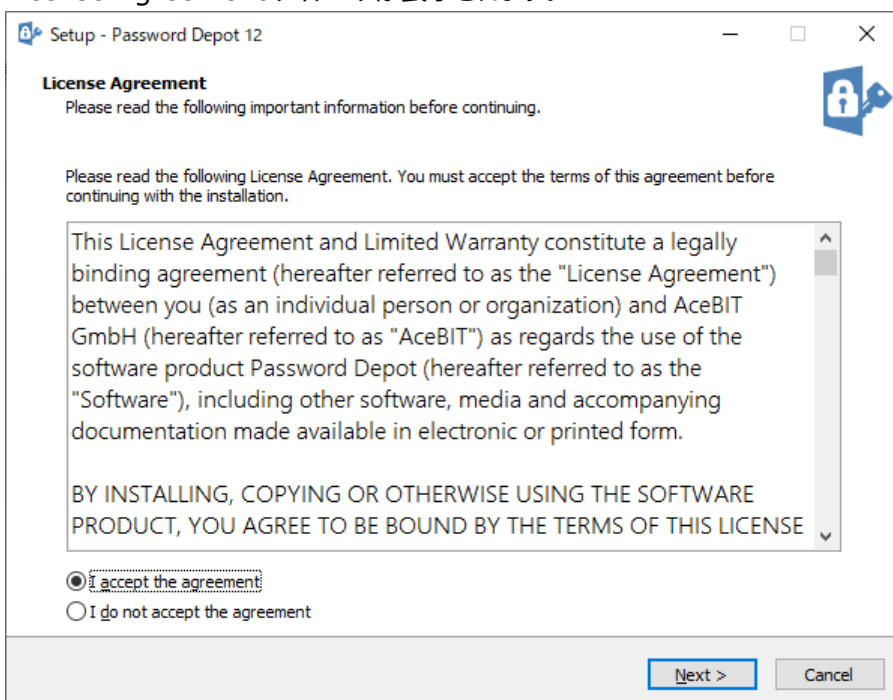
1. ダウンロードいただきました Password Depot のインストーラーを実行します。
2. Select Setup Language ダイアログが表示されます。



ご希望の言語を選択して「OK」ボタンをクリックします。

※日本語をご利用いただくことはできません。英語（English）でのインストールをお勧めいたします。

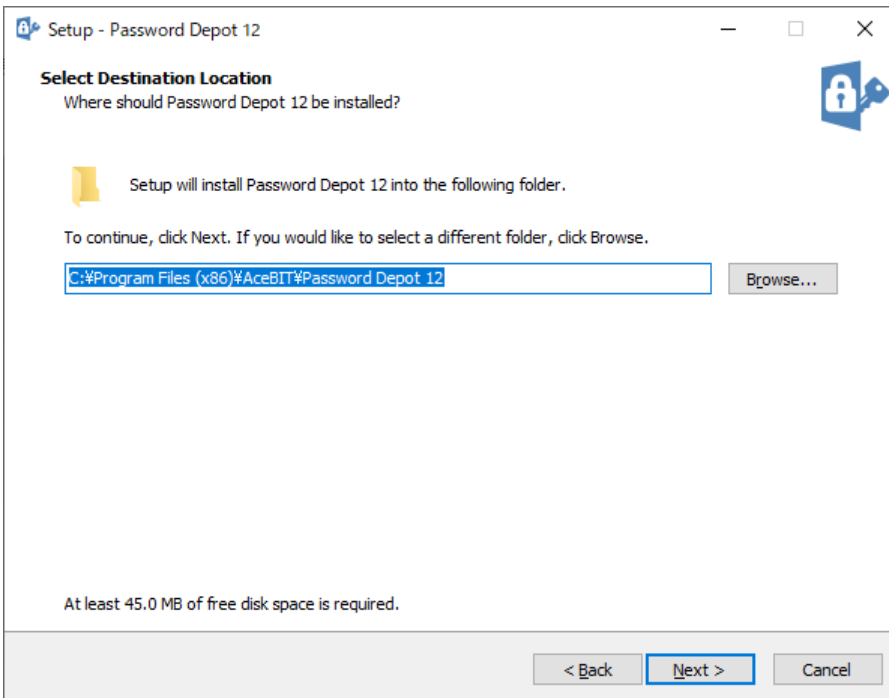
3. License Agreement ダイアログが表示されます。



同意いただける場合は、「I accept the agreement」を選択して「Next」ボタンをクリックしてください。

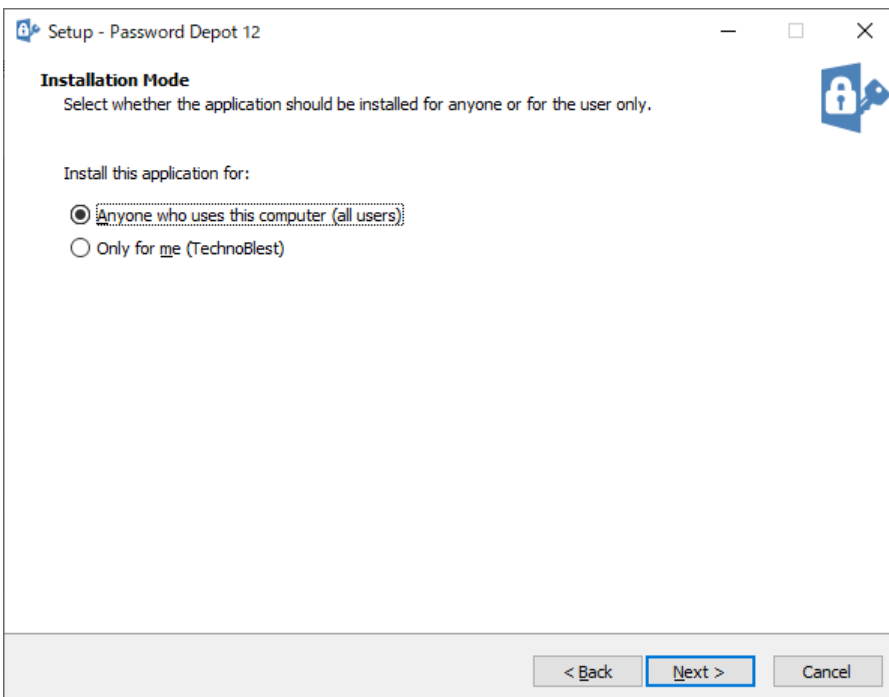
同意いただけない場合、「I do not accept the agreement」を選択して「Cancel」ボタンでインストーラーを終了してください。

4. Select Destination Location ダイアログが表示されます。



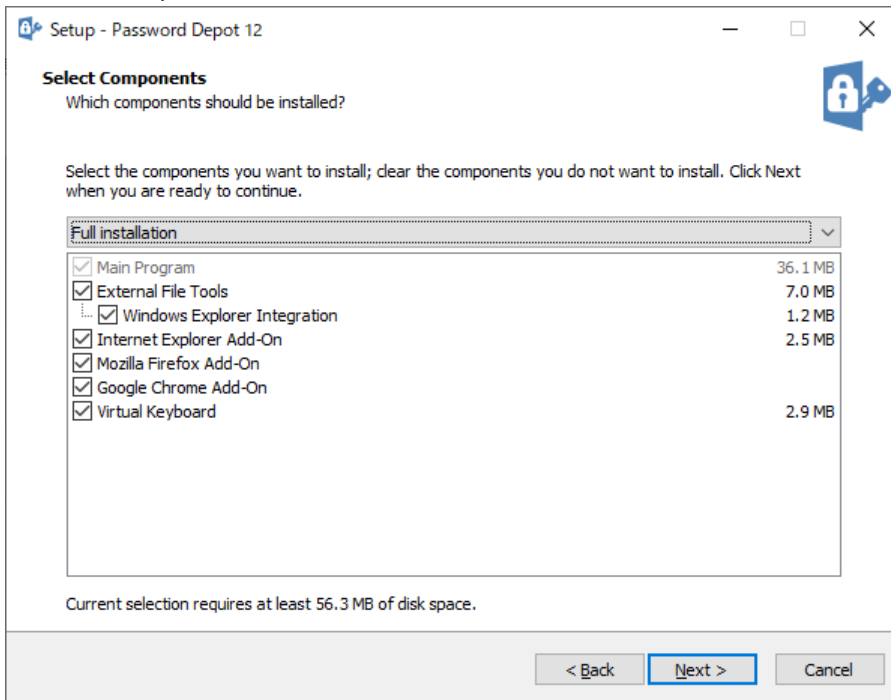
インストール場所を変更する場合は、「Browse...」ボタンをクリックしてインストールフォルダを指定してください。
※デフォルトのインストール場所へのインストールをお勧めいたします。
インストール場所の指定が完了したら「Next」ボタンをクリックします。

5. Installation Mode ダイアログが表示されます。



アプリケーション（Password Depot）を使用するユーザーを選択します。
コンピューターを使用するすべてのユーザーが使用する場合は、「Anyone who uses this computer(all users)」を選択します。
自分のみ（現在インストーラーを実行しているログインユーザーだけ）が使用する場合は、「Only for me(XXXXXXXX)」を選択します。※(XXXXXXXX)には、ユーザー名が表示されます。
選択が完了したら「Next」をクリックします。

6. Select Components ダイアログが表示されます。



インストールするコンポーネントを選択します。

Full installation = すべてのコンポーネントをインストールします。

Compact installation = 最小限のコンポーネント（メインプログラムのみ）をインストールします。

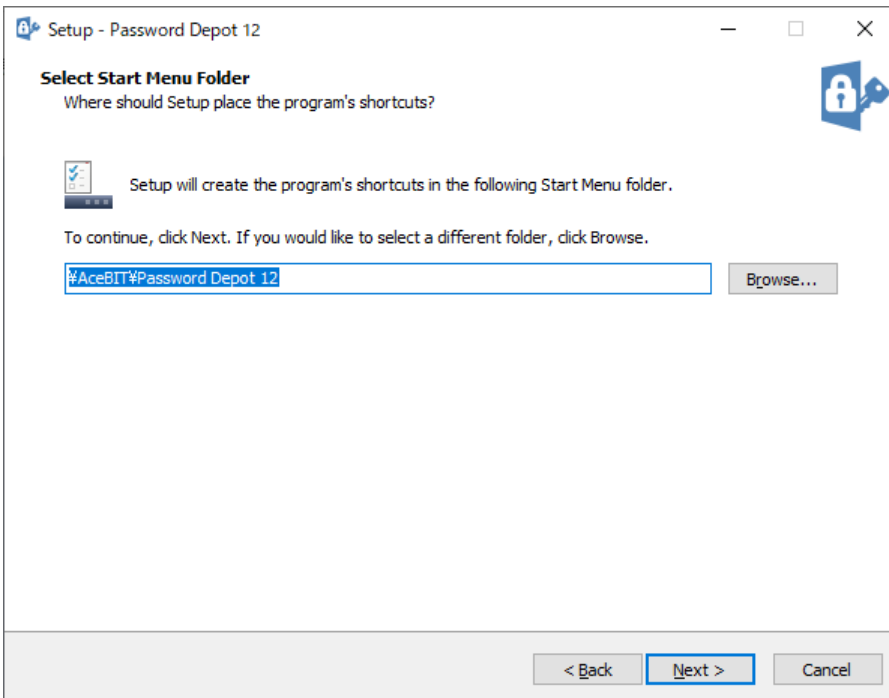
Custom installation = インストールするコンポーネントを選択します。

表示されているコンポーネントは以下の通りとなります。

- Main Program = Password Depot のメインプログラムです。選択を解除することはできません。
- External File tool = 暗号化ファイル作成ツール
- Windows Explorer Integration = Windows エクスプローラーとの統合（右クリックメニューなど）
- Mozilla Firefox Add-On = Mozilla Firefox アドオン
- Google Chrome Add-On = Google Chrome アドオン
- Virtual keyboard = 仮想キーボード

選択が完了いたしましたら「Next」ボタンをクリックします。

7. Select Start Menu Folder ダイアログが表示されます。



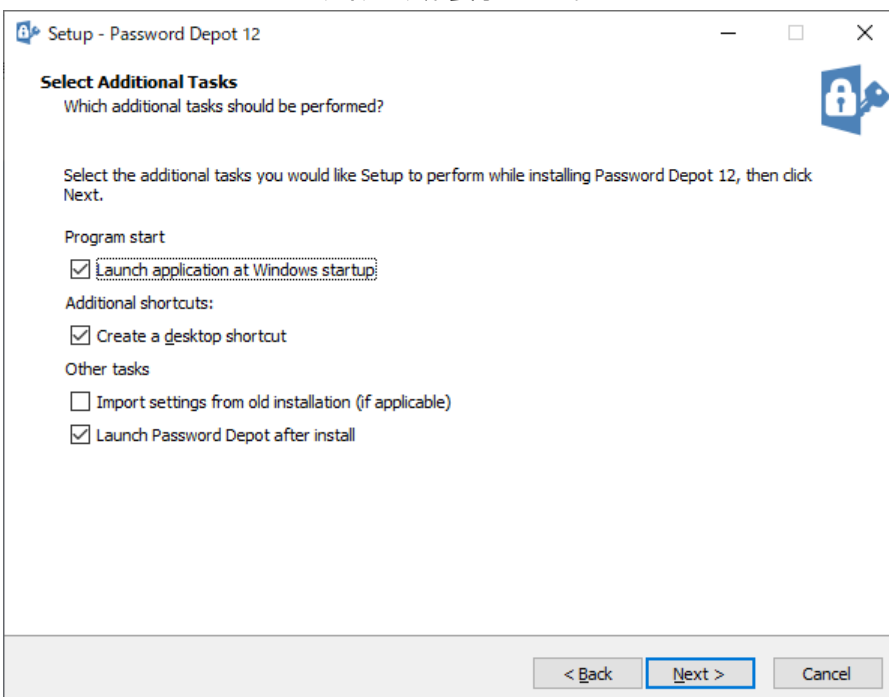
スタートメニューフォルダーを選択します。

変更する場合は、「Browse...」ボタンをクリックしてスタートメニューフォルダーを指定してください。

※デフォルトの状態でのインストールをお勧めいたします。

指定が完了したら「Next」ボタンをクリックします。

8. Select Additional Tasks ダイアログが表示されます。



追加のタスクを選択します。

Launch application at Windows startup = Windows スタートアップでアプリケーションを起動します。

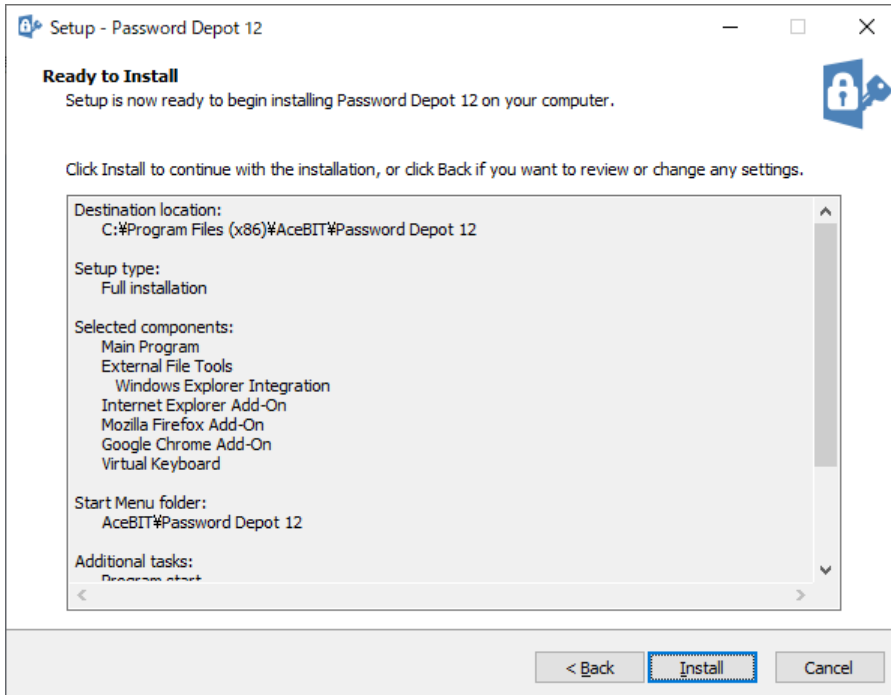
Create a desktop shortcut = デスクトップにショートカットを作成します。

Import settings from old installation(if applicable) = 適用できる場合、古いインストールから設定をインポート
(新規インストールでは必要ありません)

Launch Password Depot after install = インストール後に Password Depot を開始する

選択が完了したら「Next」ボタンをクリックします。

9. Ready to Install ダイアログが表示されます。

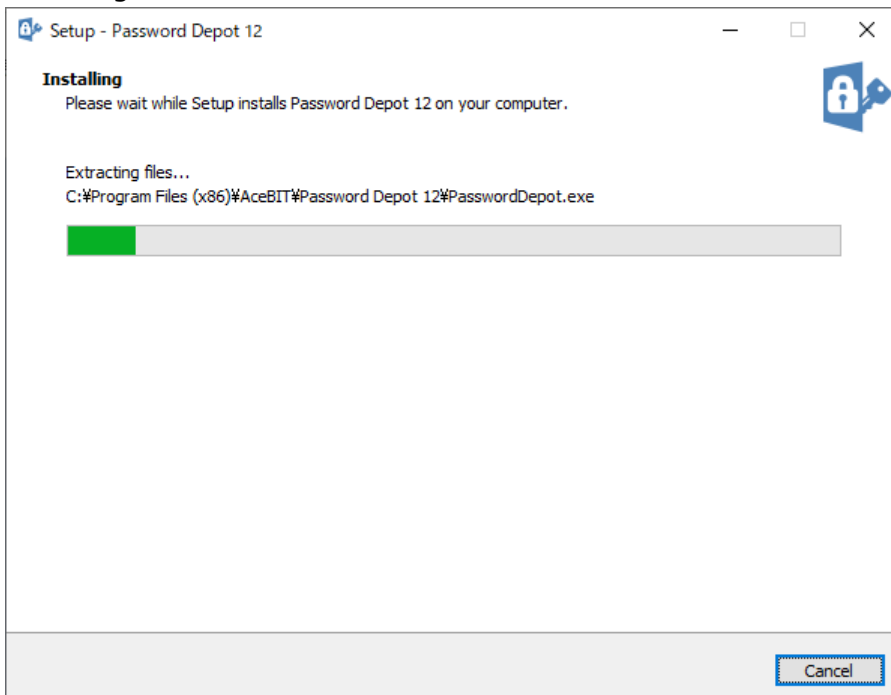


インストールの準備が整いました。

内容をご確認いただき修正が必要な場合は、「< Back」ボタンをクリックして、修正が必要な箇所まで戻り、修正を行ってください。

問題がなければ、「Install」ボタンをクリックしてインストールを開始します。

10. Installing ダイアログが表示されます。



インストールが開始されます。インストールが完了するとダイアログは自動的に終了します。

以上で、Password Depot のインストールは終了となります。

Password Depot を実行して設定を行ってください。

ライセンスキー情報の投入（フルバージョンへの移行）

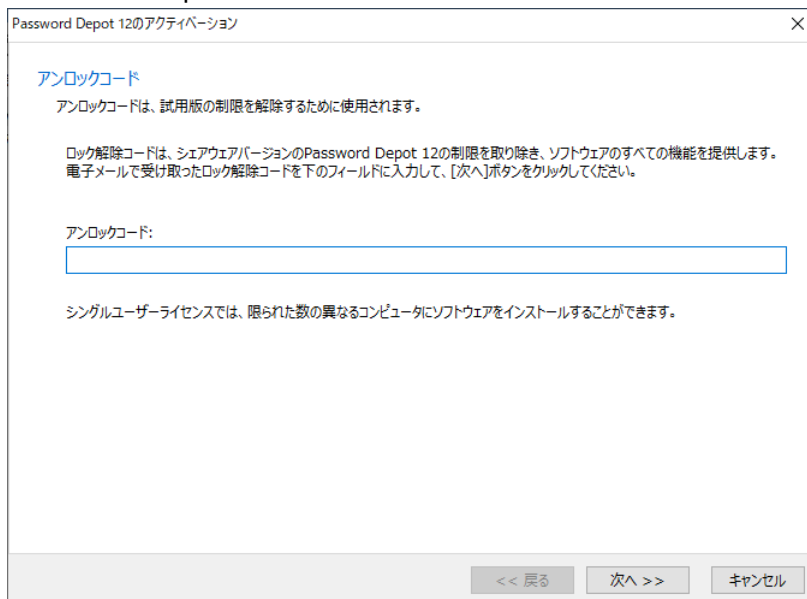
Password Depot をご購入いただきますとライセンスキー情報を電子メールでお送りいたします。

Password Depot のヘルプメニュー → アンロックをクリックします。

「Password Depot の注文とアンロック」ダイアログで「Password Depot をアンロック」をクリックします。



Password Depot 12 のアクティベーションダイアログが表示されます。



アンロックコード欄に電子メールに記載されているライセンスキーを入力（またはコピー、貼り付けを利用して入力）してください。
後はウィザードの指示に従いアクティベーションを完了してください。

Password Depot のアンインストール

Password Depot のアンインストールは、Windows の「アプリと機能」、または Windows コントロールパネルの「プログラムのアンインストールまたは変更」から Password Depot 12 のアンインストールを実行してください。

必要に応じて関連するファイルやフォルダを手動で削除してください。

Password Depot の使用

使用を始める前に

インストールが終了すると Password Depot を使用することができます。

Password Depot の使用を始める前に、運用についていくつかの内容を決定してください。（後ほど変更をできる内容ですが、事前に決定いただくことで、よりスムーズな利用がいただけます。）

- パスワードデータベースの保存場所

Password Depot のパスワード情報が保存された pswe ファイルをどこに保存するか検討してください。

保存場所により利点は異なります。

| | |
|-----------|--|
| ローカルドライブ | Password Depot がインストールされているコンピューターのローカルドライブにデータベースファイルを保存します。 そのコンピューターのみで Password Depot を使用する場合は、ローカルドライブへの保存は、最も一般的な保存場所となります。 ローカルドライブへ保存した場合、基本的に他のコンピューターやデバイスからデータベースを使用することができません。 |
| USB ストレージ | Password Depot がインストールされているコンピューターに接続可能な USB ストレージにデータベースファイルを保存します。 USB ストレージを他のコンピューターに接続することで、そのコンピューターに Password Depot がインストールされていれば、そのデータベースを使用することができます。 |
| クラウドストレージ | Google Drive や OneDrive へデータベースファイルを保存します。 クラウドストレージにアクセスできる Password Depot の環境からデータベースファイルを利用することができます。モバイル環境からも Password Depot を利用する場合、クラウドストレージへの保存が有用です。 コンピューターがクラウドストレージへのアクセス環境を持っていない場合は、作成したパスワードデータベースを利用することができません。 ファイルのセキュリティは、クラウドストレージのセキュリティに依存します。 |

- 認証方法

Password Depot のデータベースファイルを開くための認証方法として Password Depot は、以下の 3 つの方法をサポートしています。

- ① **マスターパスワード**

データベースを開くためにマスターパスワードを使用します。

最も基本的な認証方法となります。

- ② **マスターパスワードとキーファイル**

最も安全な方法であり、データベースを開くためにマスターパスワードとキーファイルの両方が必要です。

iOS 版ではキーファイルを使用することができません。

- ③ **キーファイル**

データベースはキーファイルによって保護されます。キーファイルは、解読困難な複雑なキーが含まれています。

ただし、キーファイルとデータベースにアクセスできる人は誰でもデータベースを開くことができることに注意してください。

キーファイルは、金庫の物理的な鍵と考えることができます。よってキーファイルを安全な場所（USB ドライブなど）に保存する必要があります。iOS 版ではキーファイルを使用することができません。

日本語ファイルの適用

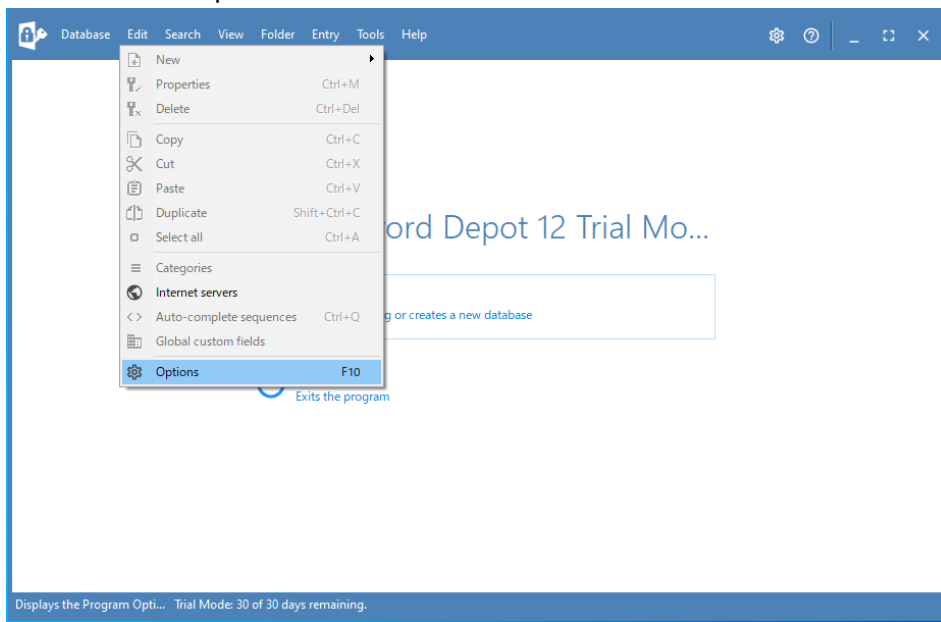
ダウンロードいただきました Password_Depot_JP.zip ファイルを展開してください。

展開後は、PasswordDepot.sib、pdFileTools.sib、ReadMe.txt ファイルがあることを確認してください。

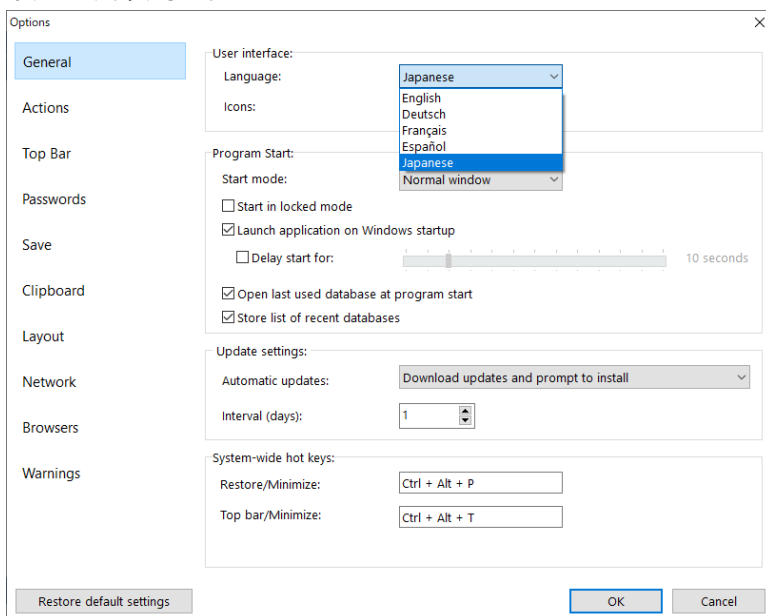
手順は、ReadMe.txt ファイル内でも確認いただくことができます。

以下の手順で日本語インターフェースを利用いただくことができます。

1. Password Depot のインストールを完了します。
2. Password Depot のインストールディレクトリ（デフォルトインストールでは、C:\Program Files (x86)\AceBIT\Password Depot 12 です）に PasswordDepot.sib、pdFileTools.sib ファイルをコピーします。
3. Password Depot を起動します。
4. Edit メニューより Options を選択します。

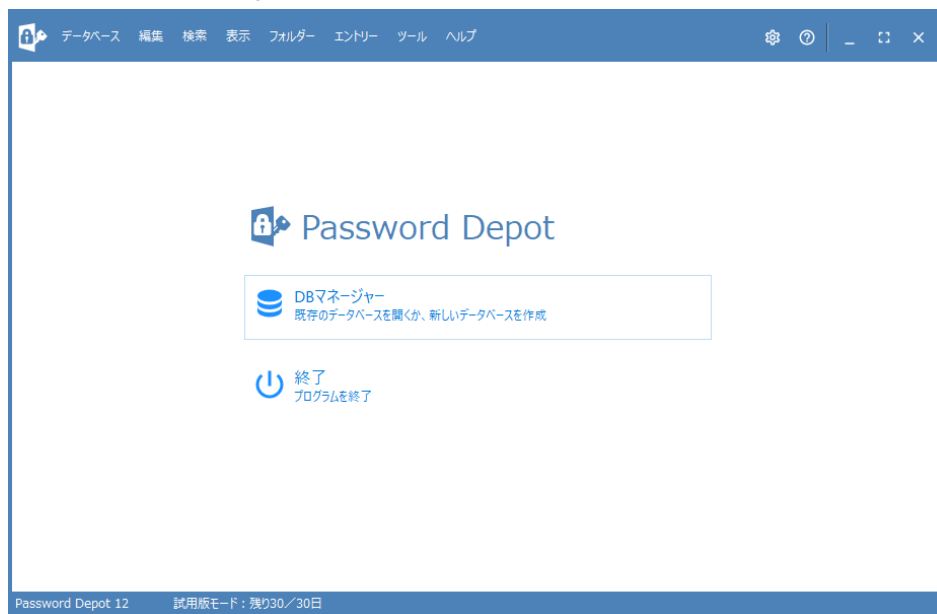


5. Options ダイアログが表示されますので、General 内の User Interface の Language で「Japanese」を選択し OK ボタンをクリックします。



※ここで Japanese が表示されていない場合、Password Depot を終了し、日本語ファイルが正しく Password Depot のインストールディレクトリに置かれているかをご確認いただき、Password Depot をもう一度開始してください。

6. インターフェイスが日本語に切り替わります。（日本語表示に切り替わらない場合は、Password Depot をいったん終了して再起動してください）



データベースの作成開始方法

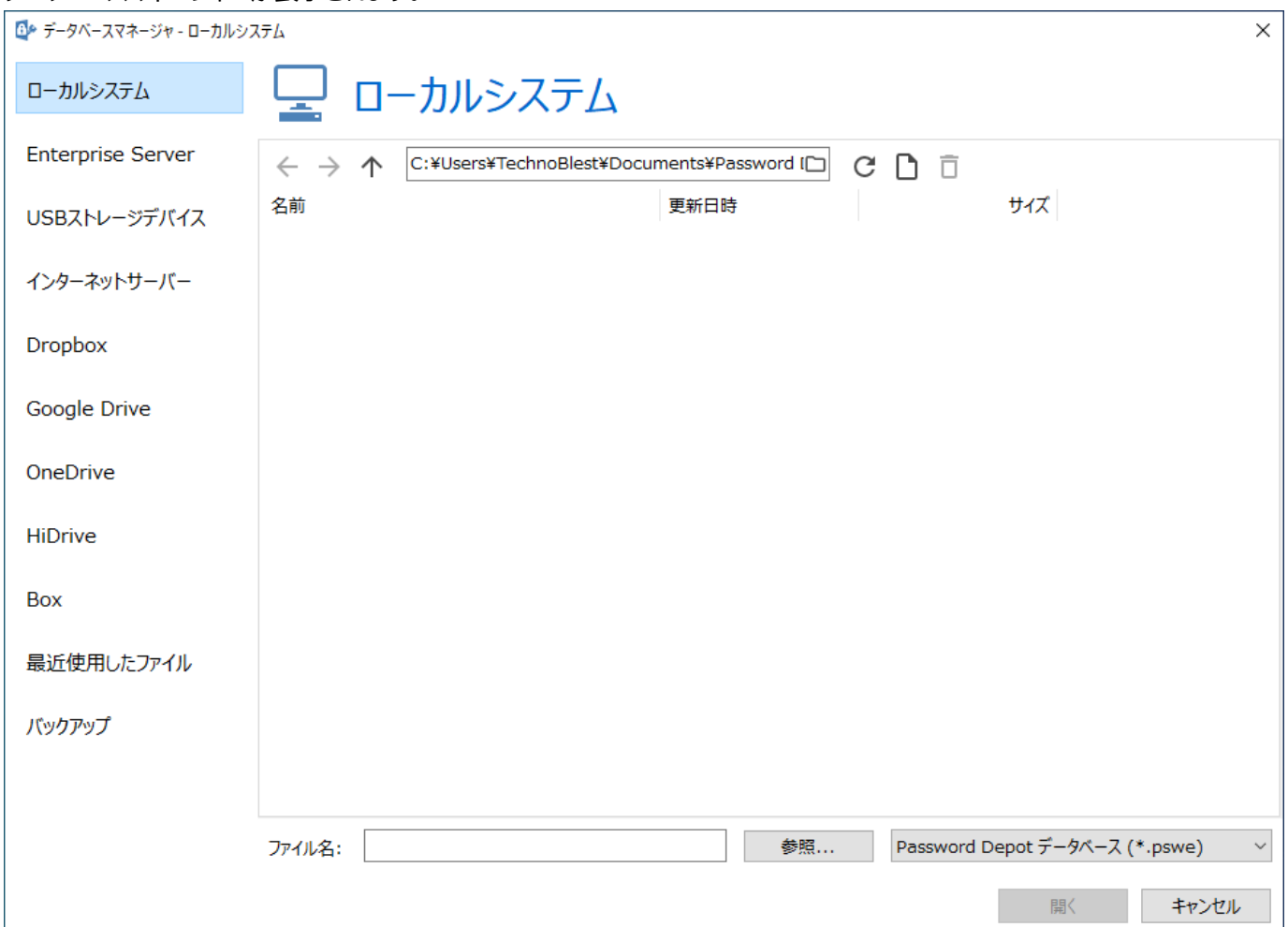
Password Depot の利用を開始するには、最初にパスワード情報を保存するデータベースを作成します。

Password Depot を開始します。

画面中央の「DB マネージャー」をクリックします。



データベースマネージャーが表示されます。



ローカルシステムへの作成

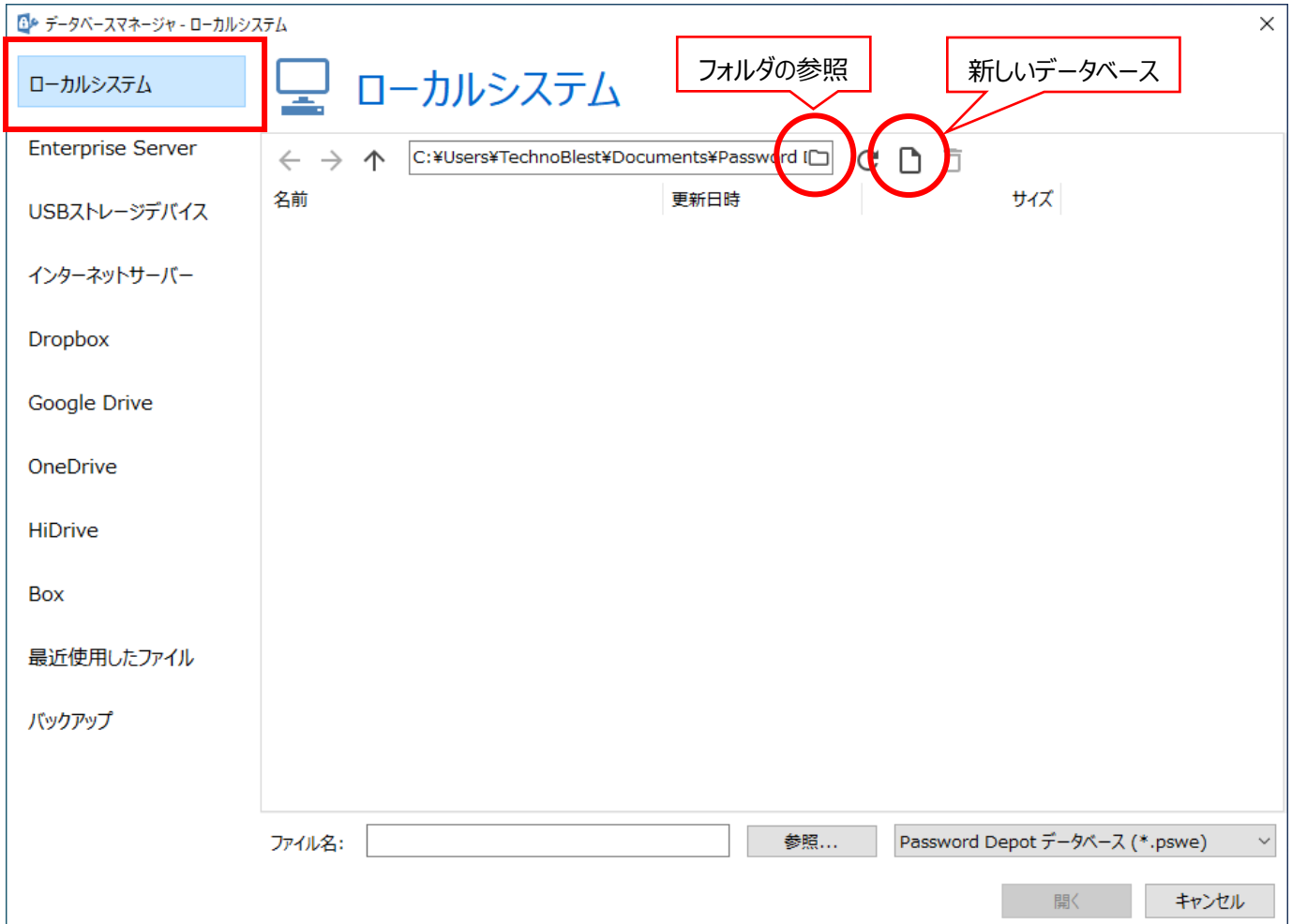
ローカルシステムへデータベースを作成する場合、データベースマネージャーで「ローカルシステム」を選択します。

データベースファイル（pswe ファイル）を作成する場所を選択します。

デフォルトでは、C:¥Users¥（ユーザー名）¥Documents¥Password Depot¥ フォルダ内にファイルを作成します。

変更する場合は、フォルダの参照から保存場所を選択してください。

保存場所を選択したら、「新しいデータベース」ボタンをクリックします。



新しいデータベースを作成するための設定ダイアログが表示されます。

新しいデータベースの設定方法については、この後の章をご覧ください。

[新しいデータベースの設定](#)

USB ストレージデバイスへの作成

USB ストレージデバイスへデータベースを作成する場合、データベースマネージャーで「USB ストレージデバイス」を選択します。利用可能な USB ストレージデバイスが表示されますので、データベースファイル（pswe ファイル）を作成する USB ストレージデバイスを選択します。

USB ストレージデバイスを選択したら、「新しいデータベース」ボタンをクリックします。



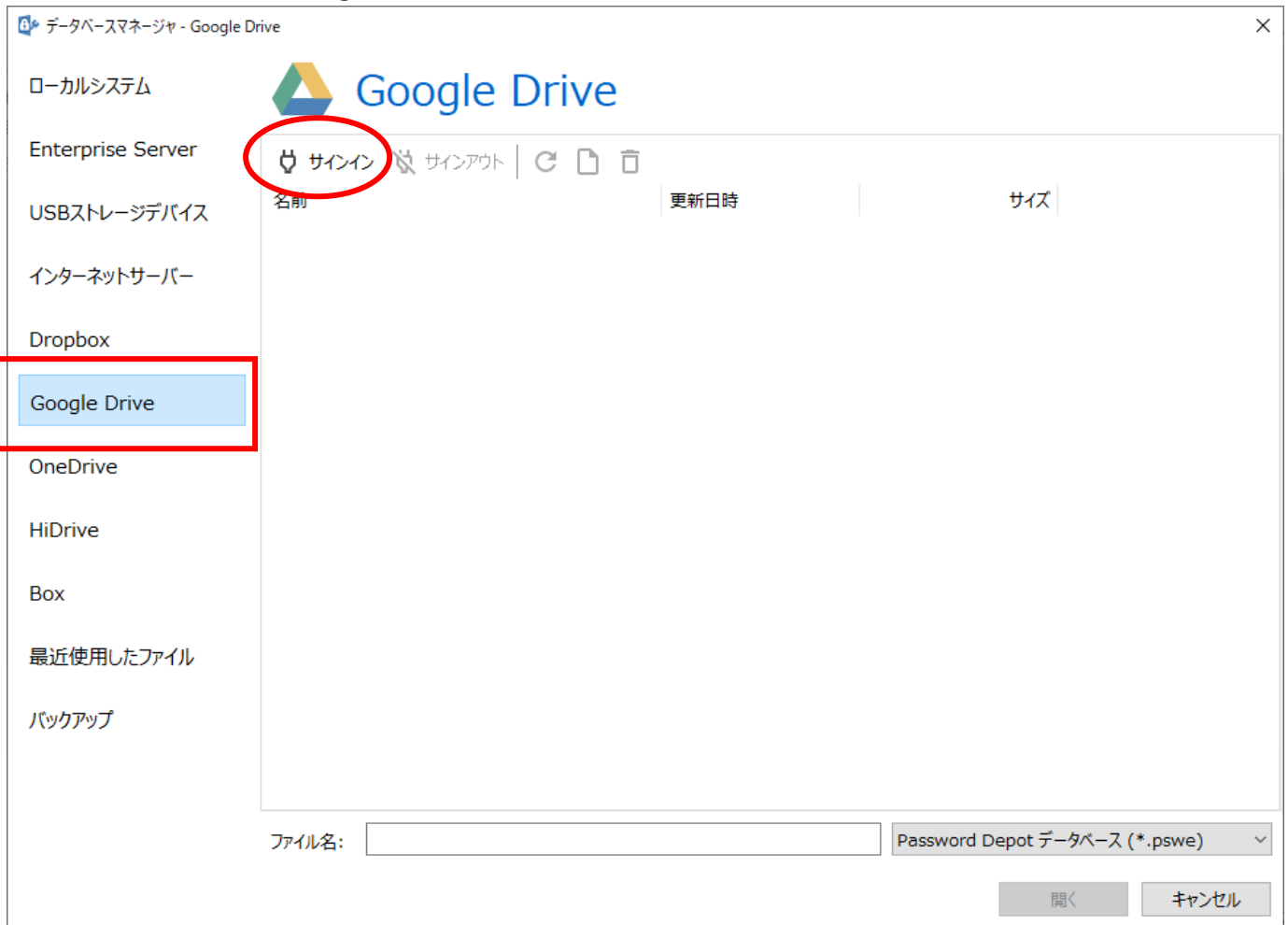
新しいデータベースを作成するための設定ダイアログが表示されます。

新しいデータベースの設定方法については、この後の章をご覧ください。

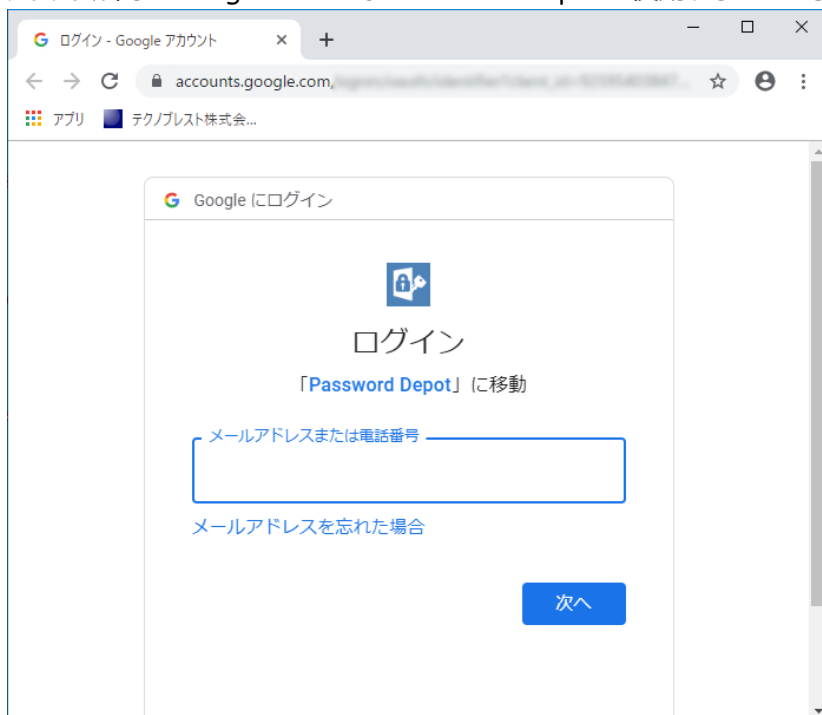
[新しいデータベースの設定](#)

クラウドストレージへの作成

ここでは、Google Drive への作成を例にいたします。他のクラウドストレージも基本的に同様となります。
データベースマネージャーで「Google Drive」を選択して「サインイン」ボタンをクリックします。

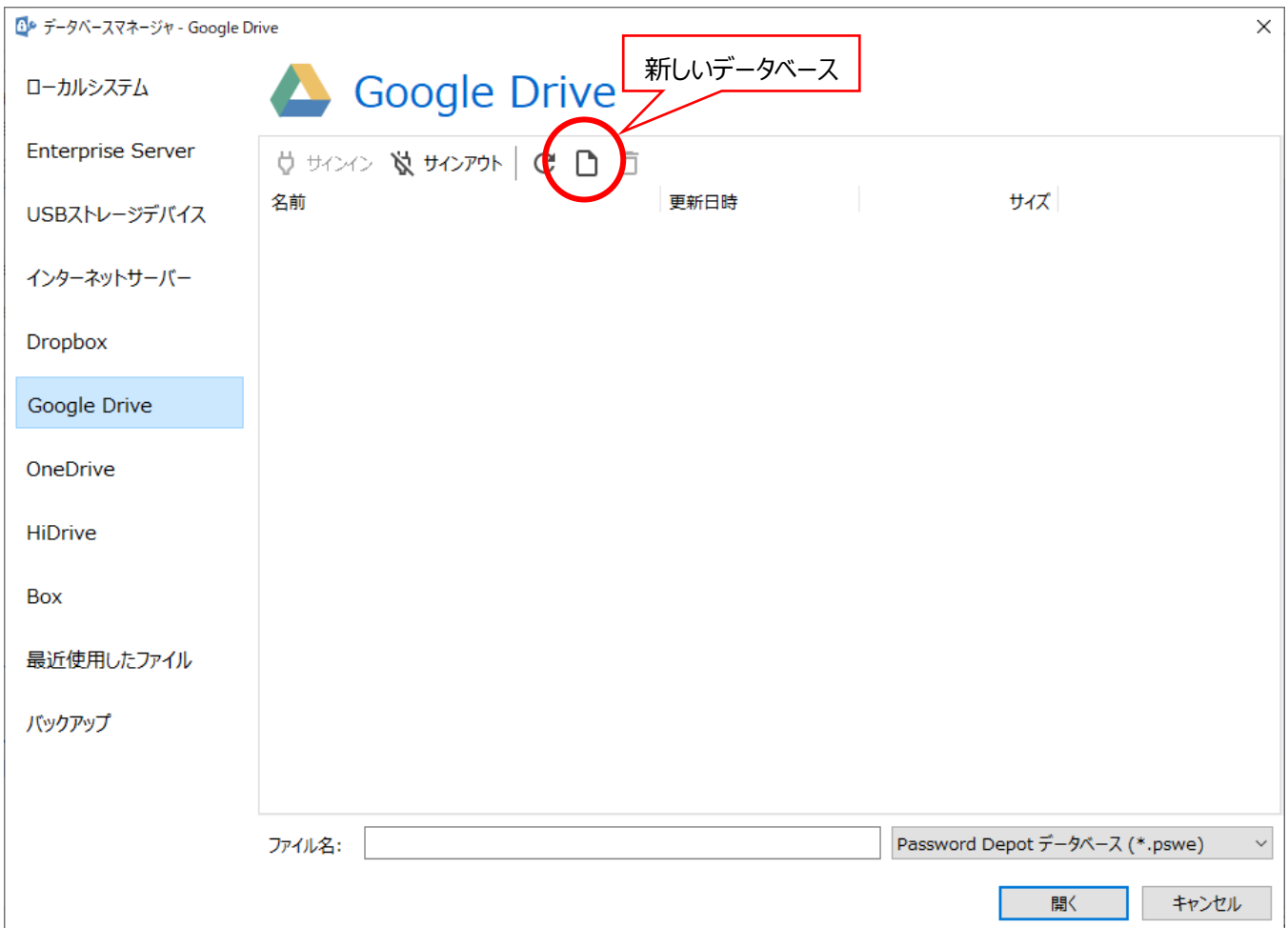


ブラウザが開き Google Drive で Password Depot を使用するための認証を行います。



認証に関しては Google アカウントの画面内容に従って行ってください。また、Password Depot からアカウントリクエストを許可する設定としてください。（他のクラウドストレージについても、ストレージ提供ベンダーの認証を行い許可してください。）

※認証後のブラウザで Password Depot の文字化けした画面が表示される場合がありますが、そのまま終了してください。サインインができた状態になると以下のような画面となり、新しいデータベースが作成できる状態となります。



コンピューターで、それぞれのクラウドストレージを利用するためのアカウントが構成されている場合、一度対象となるクラウドストレージで Password Depot の利用を許可すると自動的にコンピューターが持つ認証情報を使用してサインインしますが、コンピューターでクラウドストレージを使用するためのアカウントが構成されていない場合、サインアウトすると次回サインインする場合は、毎回認証が必要となります。（この動作は利用するクラウドストレージにより異なります。またアカウントセキュリティ、ログインなどはクラウドストレージの提供会社の仕様に準じます。）

新しいデータベースの設定方法については、この後の章をご覧ください。

[新しいデータベースの設定](#)

新しいデータベースの作成

データベースファイルの保存場所設定が完了したらデータベースファイルを作成します。

ここではローカルシステムを例に作成します。（他の保存場所も基本的に同様の方法となります。）

認証方法別にご紹介をしております。

[各認証法の特徴はこちらをご参照ください。](#)

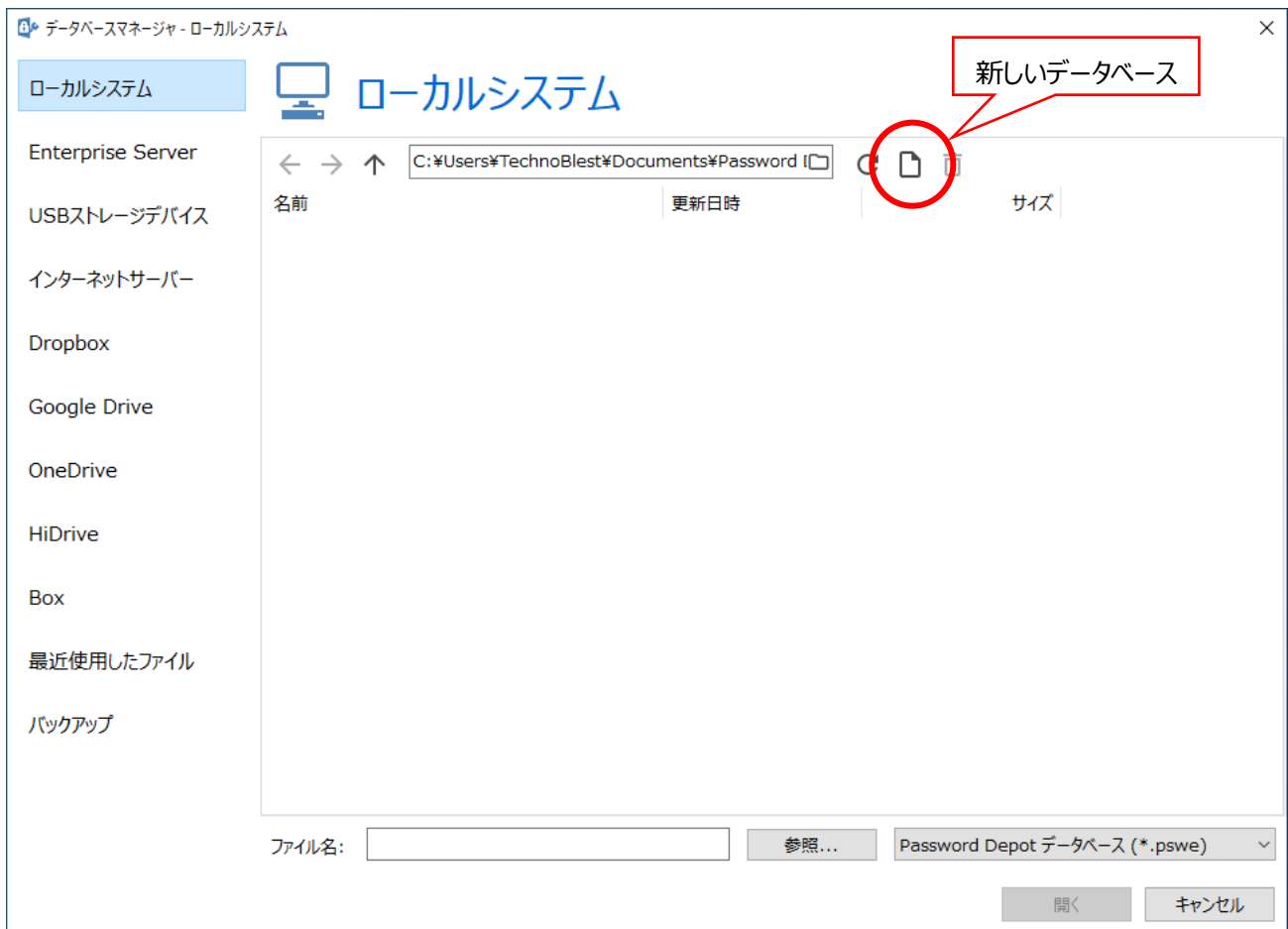
[マスターパスワードによる認証](#)

[マスターパスワードとキーファイルによる認証](#)

[キーファイルによる認証](#)

マスターパスワードによる認証

データベースマネージャーで新しいデータベースの作成をクリックします。（ファイルの作成場所が指定されていることを確認してください。）



1. 新しいデータベースダイアログが表示されます。

新しいデータベース

パスワード
DEPOT

新しいデータベースの設定を指定します。

データベース名:
My_Password

データベースの説明:
私のパスワード

マスターパスワードのヒント:
飼っているペットの名前

フォーマット: PSWE Database

認証方法:
マスターパスワード

マスターパスワード:
.....

マスターパスワードの再入力:
.....

長さ: 12文字、エントロピー: 71ビット、辞書の類似度: 66.67 %
解読予想時間: 34,000年

キーファイル:

パスワードを表示

マスターパスワード生成機能

パスワードの安全性

仮想キーボードを表示

OK

キャンセル

2. 各項目を設定してください。

- データベース名 (必須)
データベースの名前を入力してください。この名前がデータベースのファイル名となります。
- データベースの説明
このデータベースの説明を入力してください。この説明は、データベースを開く際の説明欄に表示されます。
- マスターパスワードのヒント
マスターパスワードのヒントを入力してください。ヒントは、データベースを開く際のヒントの表示をクリックした際に表示されます。
- フォーマット
特別な理由がない限り、デフォルの「PSWE Database」を選択してください。
- 認証方法
データベースを開くための認証方法を選択してください。
(この章ではマスターパスワードを選択します。)
- マスターパスワード
データベースファイルを開くためのマスターパスワードを入力してください。
マスターパスワードは非常に重要です。マスターパスワードを忘れるとデータベースファイルを開くことはできません。
マスターパスワードを忘れるとデータベース内のすべてのパスワード情報を開くことができません。
また第三者が簡単にわかるような危険なパスワードを設定しないようにしてください。データベースとマスターパスワードを知るユーザーは、パスワードが保存されたデータベースを開くことができます。
「パスワードを表示」ボタンをクリックするとマスクされたパスワードを表示することができます。

マスターパスワード生成機能

マスターパスワード生成

パスワード生成 文字変換設定

マスターパスワード生成は、フレーズ内のすべての単語の頭文字を使用して、Leet変換テーブルを使用して新しい文字列を作成します。

少なくとも8語の覚えやすいフレーズを下に入力してください:

例: "My Favorite Pet's Name Is Charlie And He Is A Dog" → "MfPN1[@#l4d"

パスワードの生成:

パスワードの品質:

長さ: 0文字、エントロピー: 0ビット、辞書の類似度: 100.00 %
パスワードは辞書攻撃に対して脆弱です。

次を使用してフレーズを変換:

ランダムな大文字と小文字の区別 (最も安全)

使用したテンプレート:

テンプレートの凡例:
O - オリジナル、G - 大文字、k - 小文字、1 - Leet 1、2 - Leet 2

OK キャンセル

マスターパスワード生成機能ボタンをクリックすると安全なマスターパスワードを生成するために使用できる生成機能を利用することができます。

半角英数で 8 語以上のフレーズを入力することでパスワードを生成することができます。

マスターパスワードを入力するとパスワードの安全性が表示されます。この情報を参考に安全性の高いパスワードを設定いただくことをお勧めいたします。

- マスターパスワードの再入力
確認のためマスターパスワードを再入力してください。
- 仮想キーボードを表示
仮想キーボード機能をインストールいただいている場合、各項目の入力に仮想キーボードを使用することができます。
仮想キーボードを使用するとキーストロークから設定内容を知られることを防止することができます。

各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてデータベースファイルを作成します。

警告

マスターパスワードを忘れた場合は、選択したパスワードリストのパスワードにアクセスできなくなります。

このマスターパスワードを本当に覚えていて、使用してもよいですか？

はい(Y) いいえ(N)

警告ダイアログが表示されますので、問題がない場合は「はい」を押してください。項目の修正や変更を行う場合は「いいえ」を押してください。

「はい」をクリックするとファイルが作成され認証ダイアログが表示されます。

Password Depot 12 Trial Mode

PASSWORD DEPOT

認証: マスターパスワード

マスターパスワード:

パスワードをお忘れですか？ ヒントを得るにはここをクリックしてください。

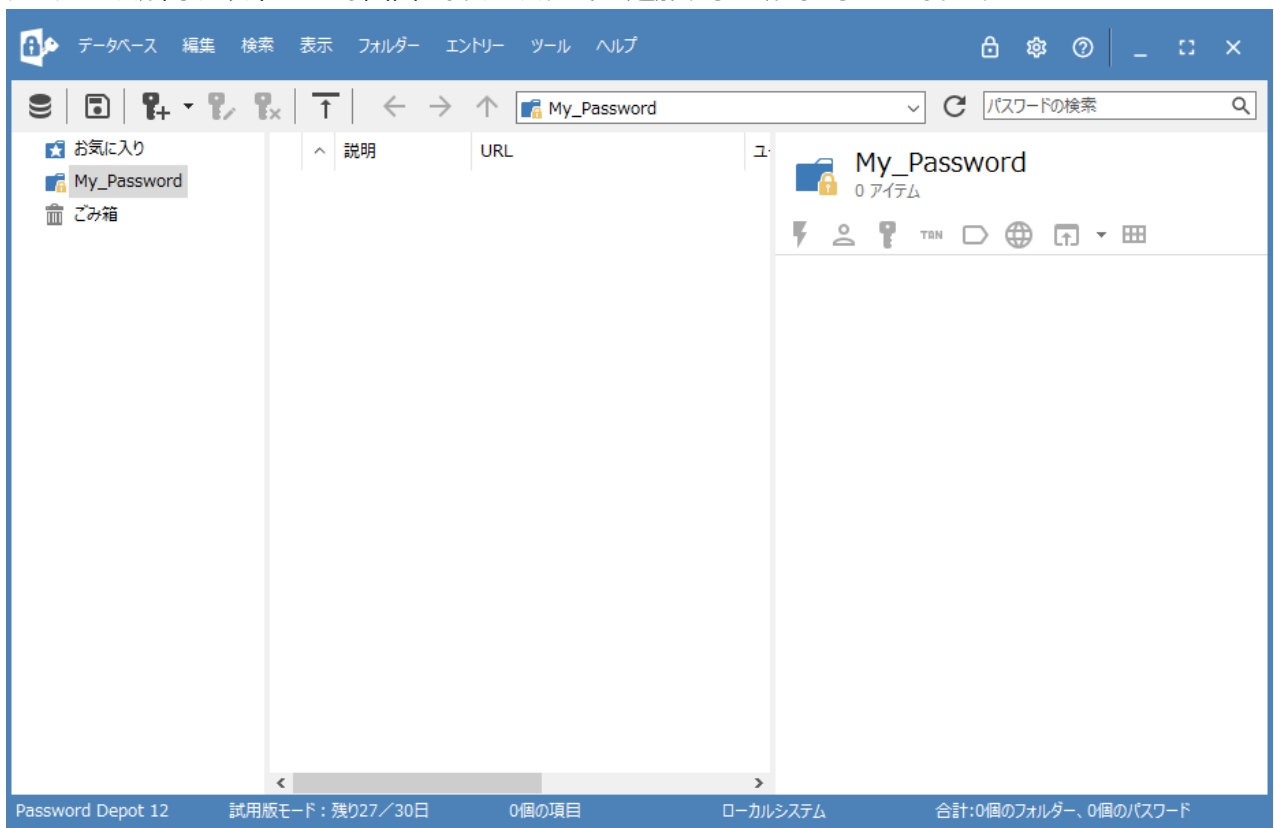
詳細を表示 OK キャンセル

設定したマスターパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックするとデータベースファイルが開きます。

「詳細を表示」をクリックするとデータベースファイルの場所や説明を表示することができます。

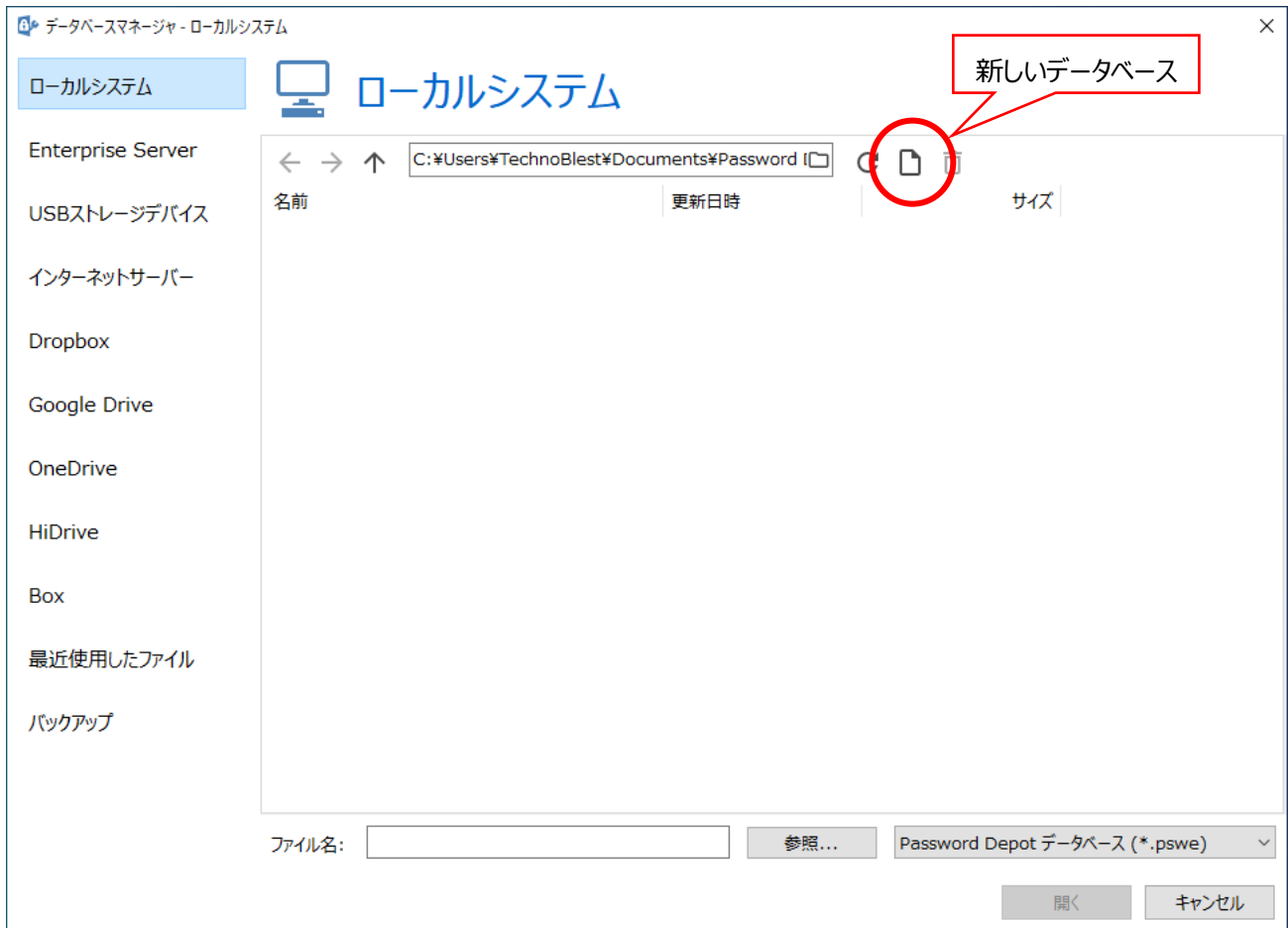
パスワードのヒントを表示するには、「パスワードをお忘れですか？ ヒントを得るにはここをクリックしてください。」をクリックしてください。

データベースが開くと以下のような画面となり、パスワードを追加できるようになります。



マスターパスワードとキーファイルによる認証

データベースマネージャーで新しいデータベースの作成をクリックします。(ファイルの作成場所が指定されていることを確認してください。)



3. 新しいデータベースダイアログが表示されます。

新しいデータベース

パスワード
DEPOT

新しいデータベースの設定を指定します。

データベース名:
My_Password

データベースの説明:
私のパスワード

マスターパスワードのヒント:
飼っているペットの名前

フォーマット: PSWE Database

認証方法:
マスターパスワードとキーファイル

マスターパスワード:
.....

マスターパスワードの再入力:
.....

長さ: 12文字、エントロピー: 71ビット、辞書の類似度: 66.67 %
解読予想時間: 34,000年

キーファイル:

パスワードを表示

マスターパスワード生成機能

パスワードの安全性

キーファイル生成

仮想キーボードを表示

OK

キャンセル

4. 各項目を設定してください。

- データベース名 (必須)
データベースの名前を入力してください。この名前がデータベースのファイル名となります。
- データベースの説明
このデータベースの説明を入力してください。この説明は、データベースを開く際の説明欄に表示されます。
- マスターパスワードのヒント
マスターパスワードのヒントを入力してください。ヒントは、データベースを開く際のヒントの表示をクリックした際に表示されます。
- フォーマット
特別な理由がない限り、デフォルの「PSWE Database」を選択してください。
- 認証方法
データベースを開くための認証方法を選択してください。
(この章ではマスターパスワードとキーファイル選択します。)
- マスターパスワード
データベースファイルを開くためのマスターパスワードを入力してください。
マスターパスワードは非常に重要です。マスターパスワードを忘れるとデータベースファイルを開くことはできません。
マスターパスワードを忘れるとデータベース内のすべてのパスワード情報を開くことができません。
また第三者が簡単にわかるような危険なパスワードを設定しないようにしてください。データベースとマスターパスワードを知るユーザーは、パスワードが保存されたデータベースを開くことができます。
「パスワードを表示」ボタンをクリックするとマスクされたパスワードを表示することができます。

マスターパスワード生成機能

マスターパスワード生成

パスワード生成 文字変換設定

マスターパスワード生成は、フレーズ内のすべての単語の頭文字を使用して、Leet変換テーブルを使用して新しい文字列を作成します。

少なくとも8語の覚えやすいフレーズを下に入力してください:

例: "My Favorite Pet's Name Is Charlie And He Is A Dog" → "MfPN1[@#!4d"

パスワードの生成:

パスワードの品質:

長さ: 0文字、エントロピー: 0ビット、辞書の類似度: 100.00 %
パスワードは辞書攻撃に対して脆弱です。

次を使用してフレーズを変換:

ランダムな大文字と小文字の区別 (最も安全)

使用したテンプレート:

テンプレートの凡例:
O - オリジナル, G - 大文字, k - 小文字, 1 - Leet 1, 2 - Leet 2

OK キャンセル

マスターパスワード生成機能ボタンをクリックすると安全なマスターパスワードを生成するために使用できる生成機能を利用することができます。

半角英数で8語以上のフレーズを入力することでパスワードを生成することができます。

マスターパスワードを入力するとパスワードの安全性が表示されます。この情報を参考に安全性の高いパスワードを設定いただくことをお勧めいたします。

➤ マスターパスワードの再入力

確認のためマスターパスワードを再入力してください。

➤ キーファイル

キーファイルを作成するために「キーファイル生成」ボタンをクリックしてください。

キーファイル生成

ランダムなデータを生成するために、この領域の上でマウスを移動してください:

キーデータ:

ファイルにキーを保存:

C:\Users¥¥Documents¥Password Depot¥My_Password.pdk

保存 キャンセル

参照

キーファイルに使用されるランダムなデータを生成するために、「保存」ボタンが有効になるまで、赤枠の箇所マウスを

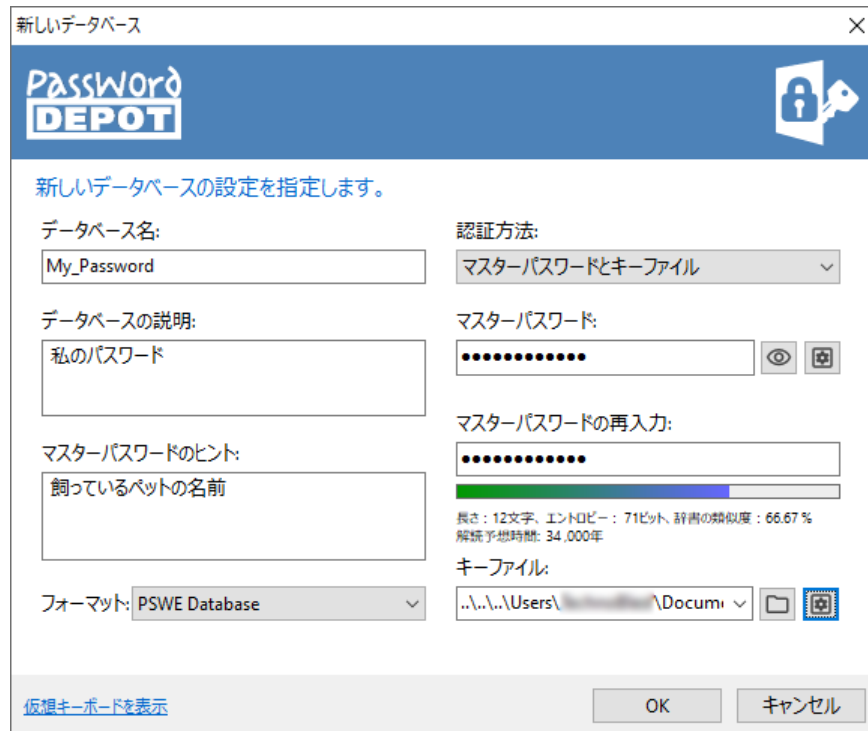
動かしてください。

キーファイルの保存場所を変更する場合は、場所を指定するか、参照ボタンで保存場所を指定してください。

※キーファイルは、指定した場所に作成されますが、後で Windows エクスプローラなどを使用して移動することができます。（データベースを開く際にキーファイルを指定することができます。）

デフォルトでは、C:\%Users%（ユーザー名）\Documents\Password Depot に作成されます。

キーデータの生成、および保存場所の指定が完了したら「保存」ボタンをクリックしてください。



キーファイルに作成したキーファイルが指定されます。

キーファイルは非常に重要です。マスターパスワードが一致してもキーファイルが参照できない場合、データベースファイルを開くことはできません。マスターパスワードとキーファイルが一致しない場合、データベース内のすべてのパスワード情報を開くことができません。キーファイルを安全な場所にバックアップするなどしてください。

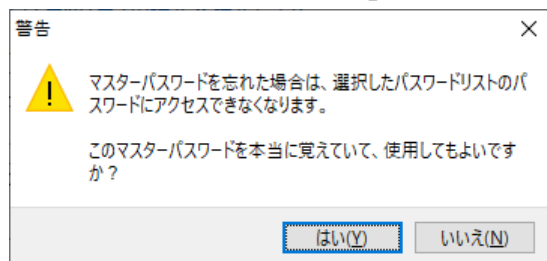
また第三者が簡単にわかるような危険なパスワードを設定しないようにしてください。データベース、マスターパスワード、キーファイルを持つユーザーは、パスワードが保存されたデータベースを開くことができます。

➤ 仮想キーボードを表示

仮想キーボード機能をインストールいただいている場合、各項目の入力に仮想キーボードを使用することができます。

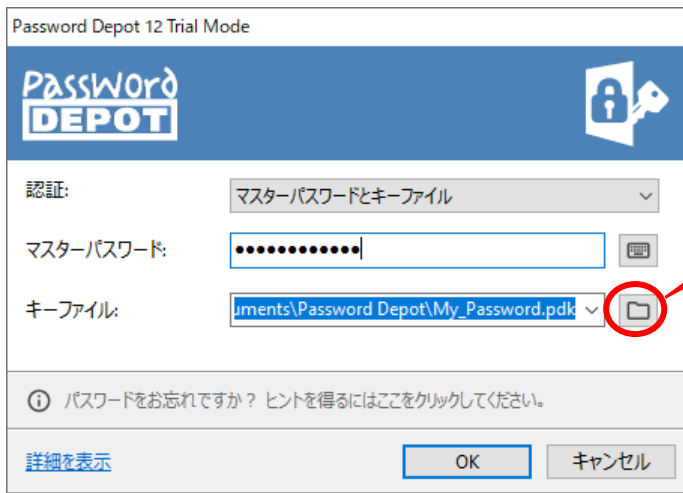
仮想キーボードを使用するとキーストロークから設定内容を知られることを防止することができます。

各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてデータベースファイルを作成します。



警告ダイアログが表示されますので、問題がない場合は「はい」を押してください。項目の修正や変更を行う場合は「いいえ」を押してください。

「はい」をクリックするとファイルが作成され認証ダイアログが表示されます。



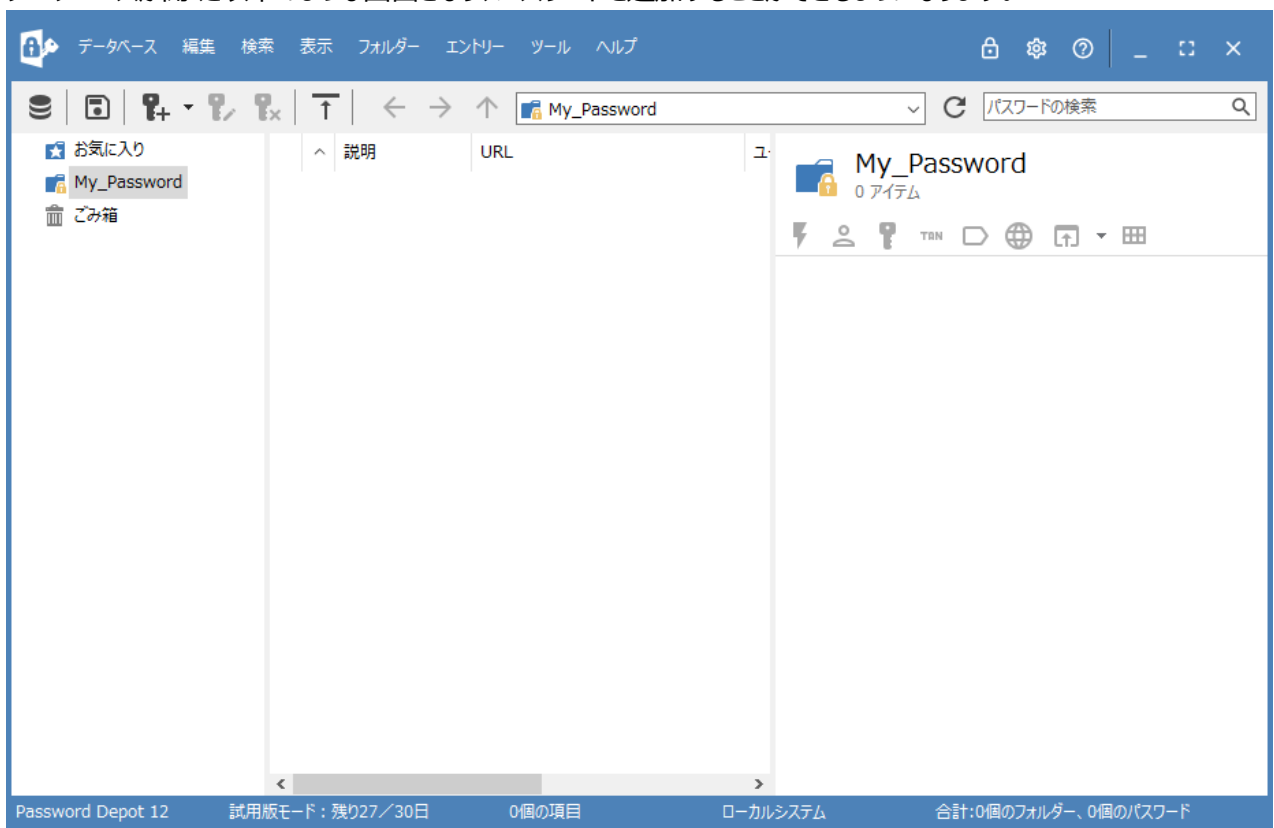
設定したマスターパスワードを入力、キーファイルを指定して「OK」ボタンをクリックするとデータベースファイルが開きます。

（キーファイルの作成場所が指定されています。異なる場合は、参照ボタンでキーファイルを指定してください。

「詳細を表示」をクリックするとデータベースファイルの場所や説明を表示することができます。

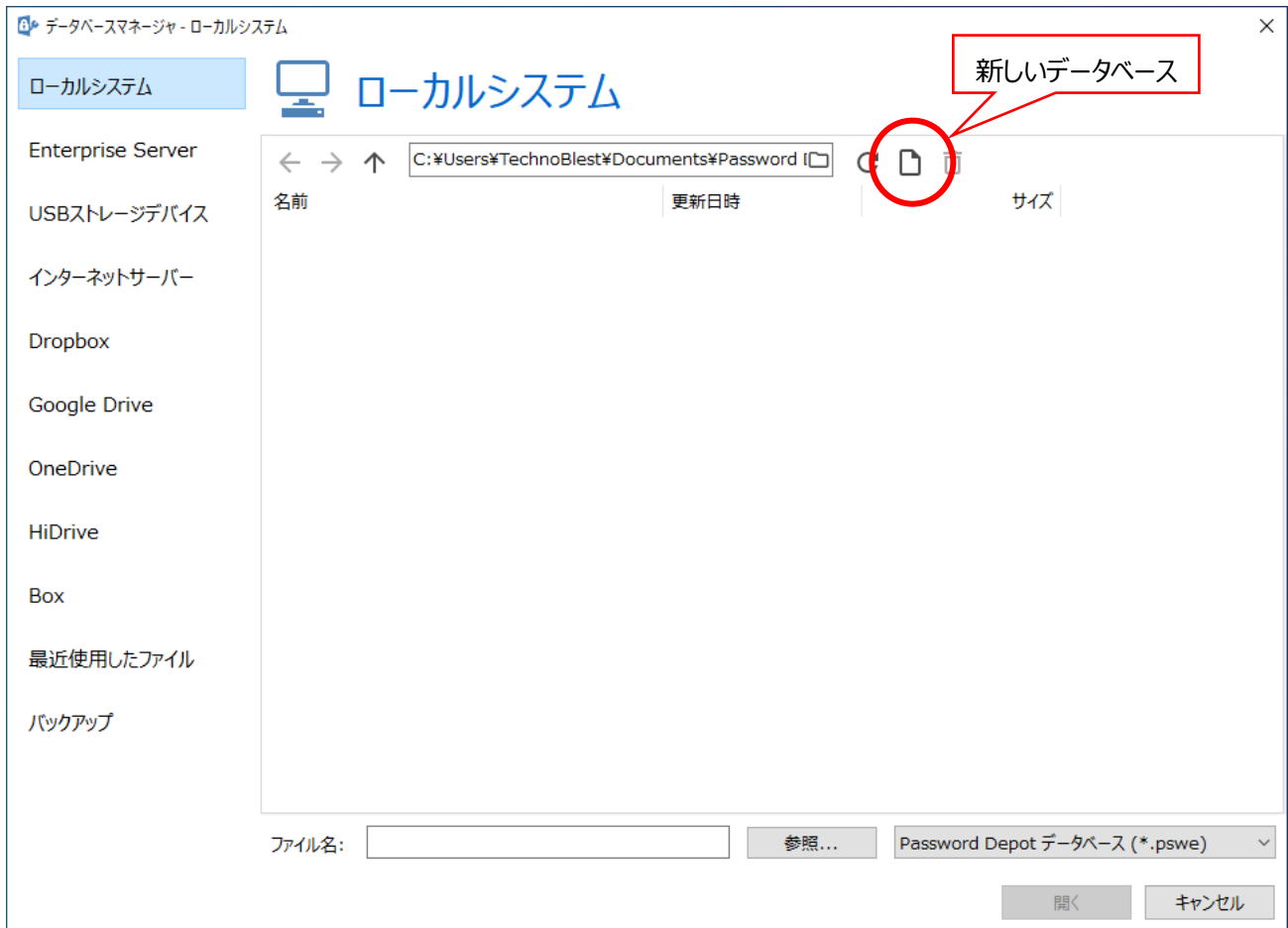
パスワードのヒントを表示するには、「パスワードをお忘れですか？ ヒントを得るにはここをクリックしてください。」をクリックしてください。

データベースが開くと以下のような画面となり、パスワードを追加できるようになります。



キーファイルによる認証

データベースマネージャーで新しいデータベースの作成をクリックします。(ファイルの作成場所が指定されていることを確認してください。)



5. 新しいデータベースダイアログが表示されます。

新しいデータベース

パスワード
DEPOT

新しいデータベースの設定を指定します。

データベース名:
My_Password

データベースの説明:
私のパスワード

マスターパスワードのヒント:

フォーマット: PSWE Database

認証方法:
キーファイル

マスターパスワード:

マスターパスワードの再入力:

長さ: 0文字、エントロピー: 0ビット、辞書の類似度: 100.00 %
パスワードは辞書攻撃に対して脆弱です。

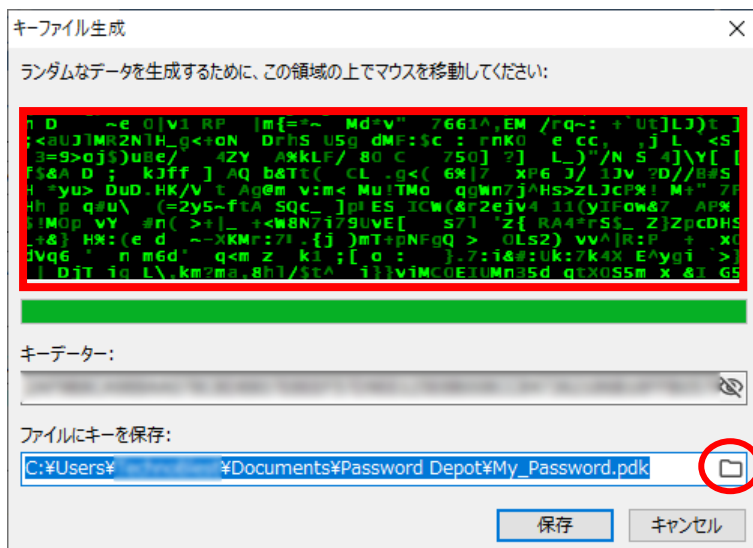
キーファイル:

キーファイル生成

[仮想キーボードを表示](#) OK キャンセル

6. 各項目を設定してください。

- データベース名 (必須)
データベースの名前を入力してください。この名前がデータベースのファイル名となります。
- データベースの説明
このデータベースの説明を入力してください。この説明は、データベースを開く際の説明欄に表示されます。
- フォーマット
特別な理由がない限り、デフォルの「PSWE Database」を選択してください。
- 認証方法
データベースを開くための認証方法を選択してください。
(この章ではキーファイル選択します。)
- キーファイル
キーファイルを作成するために「キーファイル生成」ボタンをクリックしてください。



キーファイルに使用されるランダムなデータを生成するために、「保存」ボタンが有効になるまで、赤枠の箇所でマウスを動かしてください。

キーファイルの保存場所を変更する場合は、場所を指定するか、参照ボタンで保存場所を指定してください。

※キーファイルは、指定した場所に作成されますが、後で Windows エクスプローラなどを使用して移動することができます。（データベースを開く際にキーファイルを指定することができます。）

デフォルトでは、C:\Users\ (ユーザー名) \Documents\Password Depot に作成されます。

キーデータの生成、および保存場所の指定が完了したら「保存」ボタンをクリックしてください。



キーファイルに作成したキーファイルが指定されます。

キーファイルは非常に重要です。キーファイルが参照できない場合、データベースファイルを開くことはできません。キーファイルが一致しない場合、データベース内のすべてのパスワード情報を開くことができません。キーファイルを安全な場所にバックアップするなどしてください。

また第三者にアクセスされないようにしてください。データベースとキーファイルを持つユーザーは、パスワードが保存されたデータベースを開くことができます。

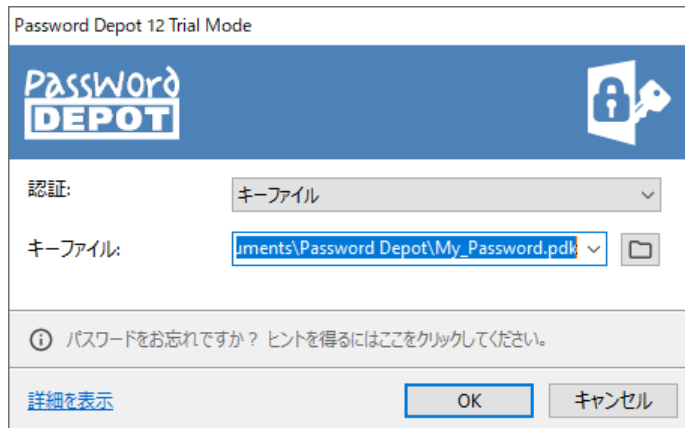
➤ 仮想キーボードを表示

仮想キーボード機能をインストールいただいている場合、各項目の入力に仮想キーボードを使用することができます。

仮想キーボードを使用するとキーストロークから設定内容を知られることを防止することができます。

各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてデータベースファイルを作成します。

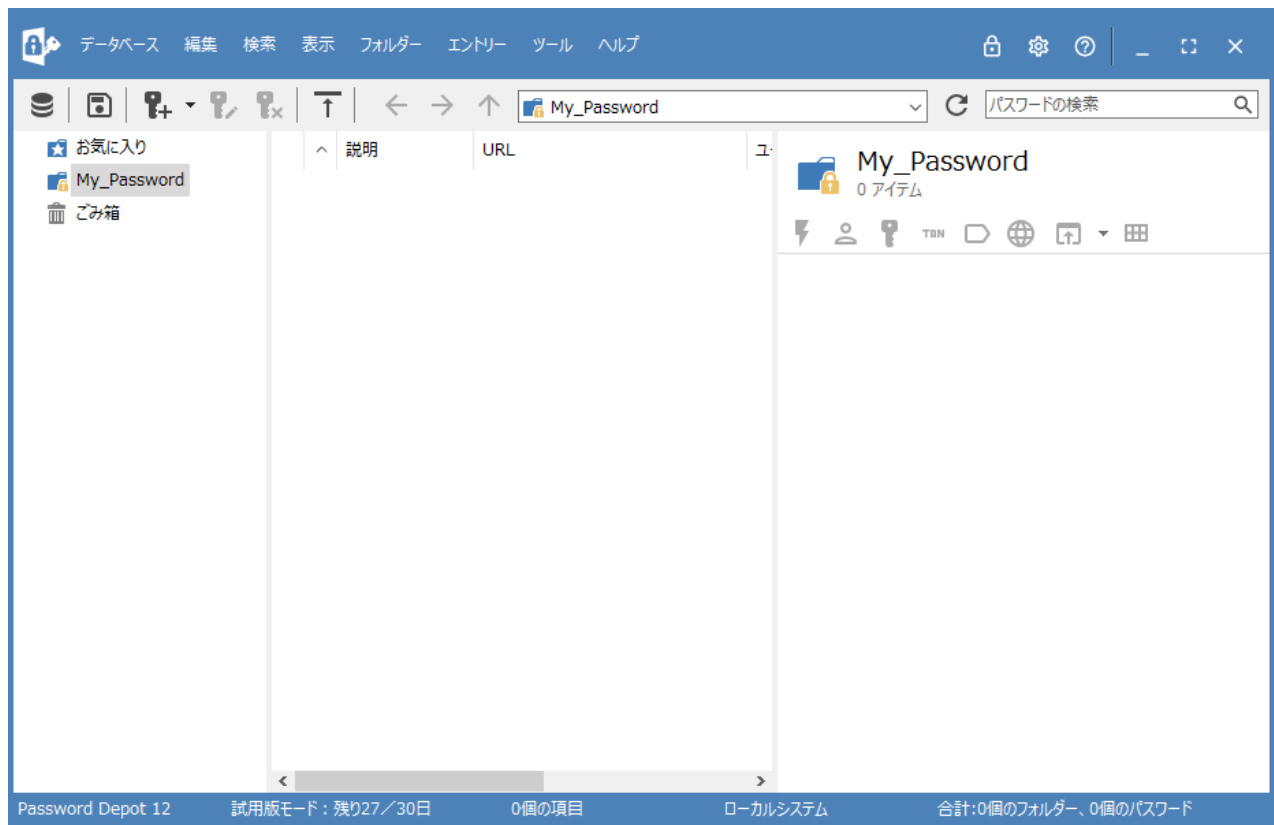
「はい」をクリックするとファイルが作成され認証ダイアログが表示されます。



設定したキーファイルを指定して「OK」ボタンをクリックするとデータベースファイルが開きます。（キーファイルの作成場所が指定されています。異なる場合は、参照ボタンでキーファイルを指定してください。

「詳細を表示」をクリックするとデータベースファイルの場所や説明を表示することができます。

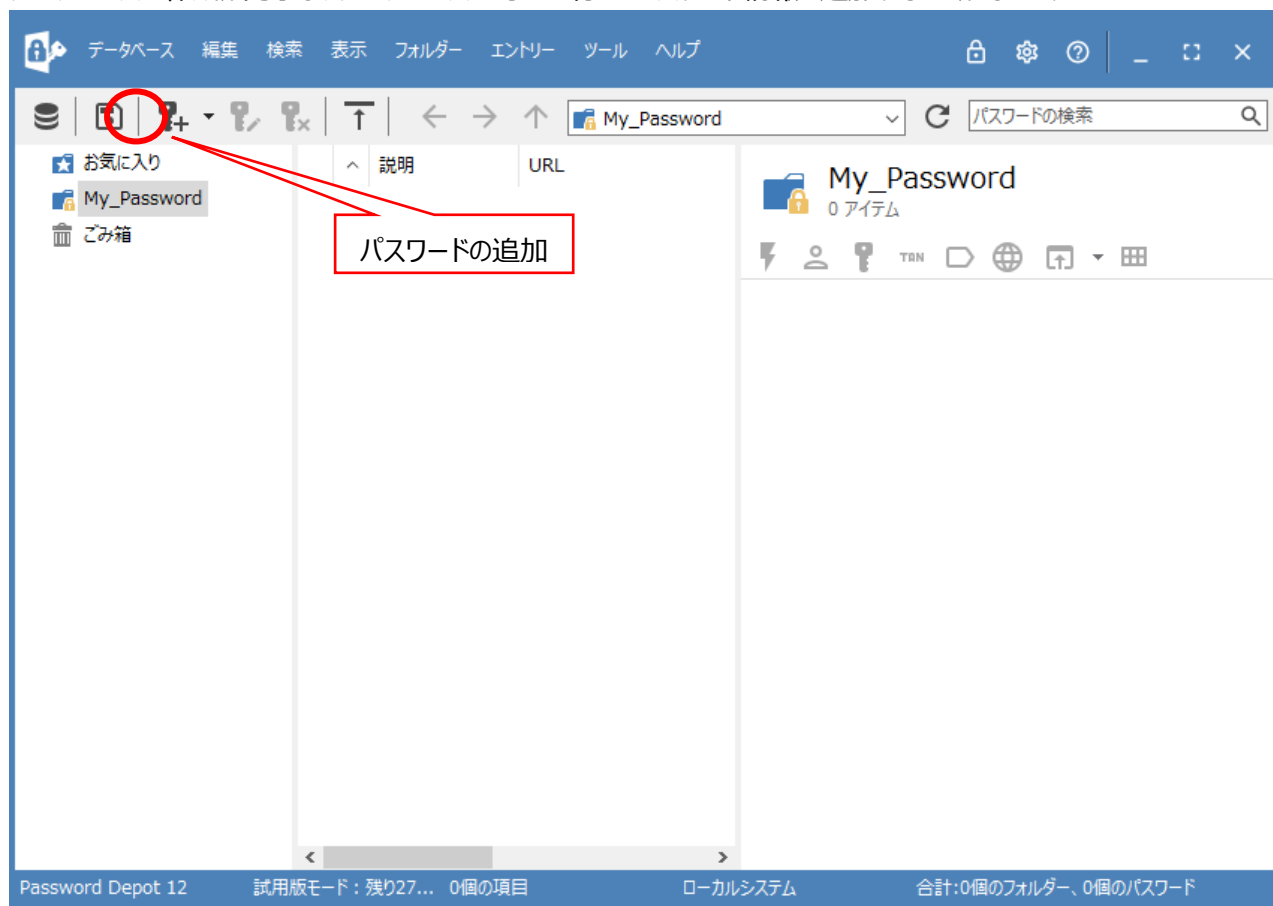
データベースが開くと以下のような画面となり、パスワードを追加できるようになります。



パスワード情報の追加

Web サイト用のパスワード

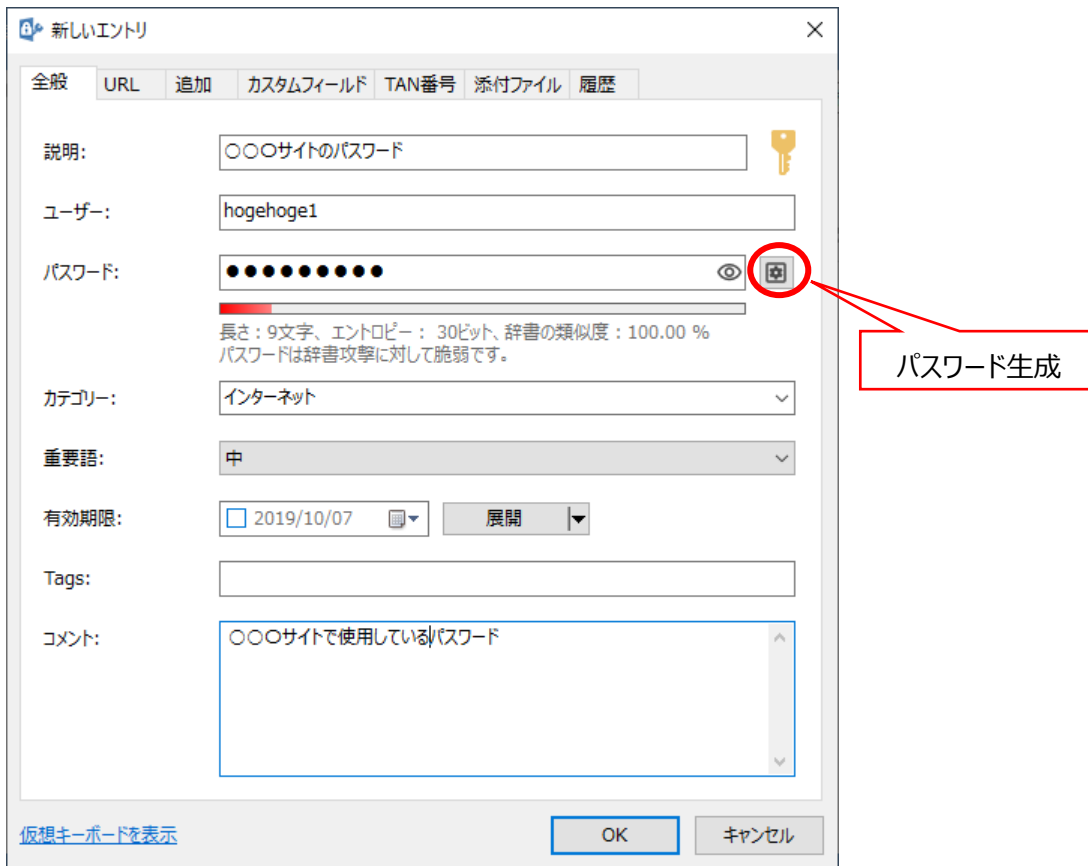
データベースの作成が完了し、データベースの認証を行うとパスワード情報を追加することができます。



パスワードを追加するには、「パスワードの追加」ボタンをクリックします。

同様の操作は、編集メニュー → 新規 → パスワードからも行うことができます。

パスワードの新規追加をクリックすると以下のダイアログが表示されます。



各項目を必要に応じて入力してください。

- 説明

このパスワードの名前となります。一覧表示の説明欄に表示されます。
- ユーザー

この Web サイトにログインするためのユーザー名を入力してください。
- パスワード

この Web サイトにログインするためのパスワードを入力してください。「目印」のアイコンをクリックするとパスワード表示することができます。

「パスワード生成」ボタンをクリックすると、強固なパスワード生成を手助けするパスワード生成機能を開くことができます。
- カテゴリ

このパスワード情報のカテゴリを選択することができます。カテゴリは、編集メニューのカテゴリから追加や変更を行うことができます。
- 重要度

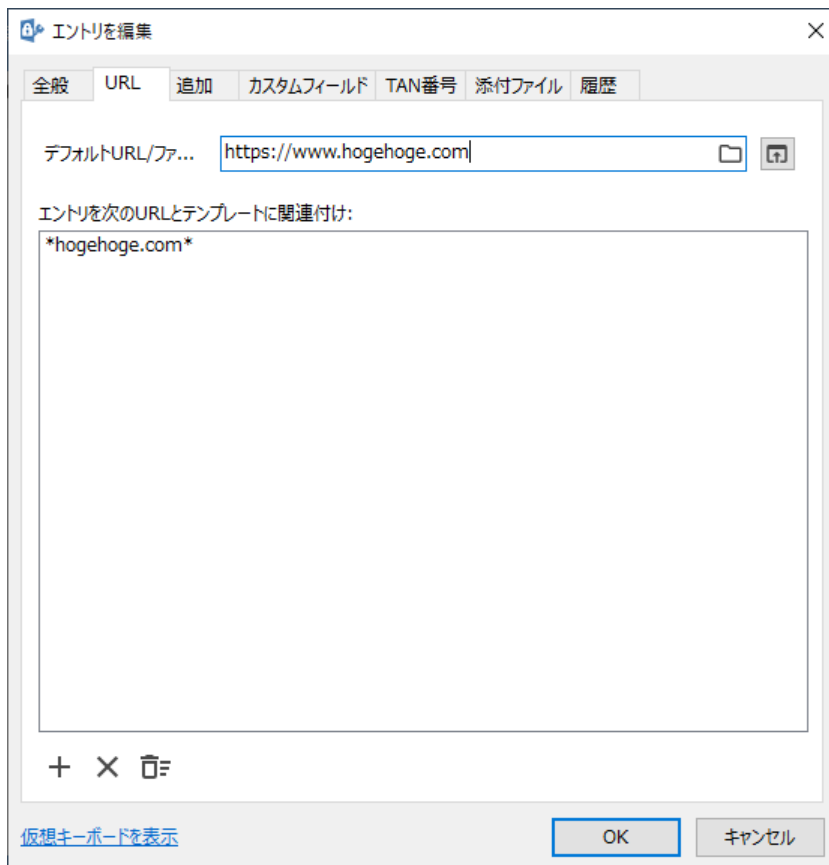
このパスワードの重要度を選択することができます。
- 有効期限

パスワードの有効期限がある場合、ここで有効期限の情報を選択することができます。
- Tags

タグを入力することができます。
- コメント

このパスワードに関するメモや情報を入力することができます。

URL タブ

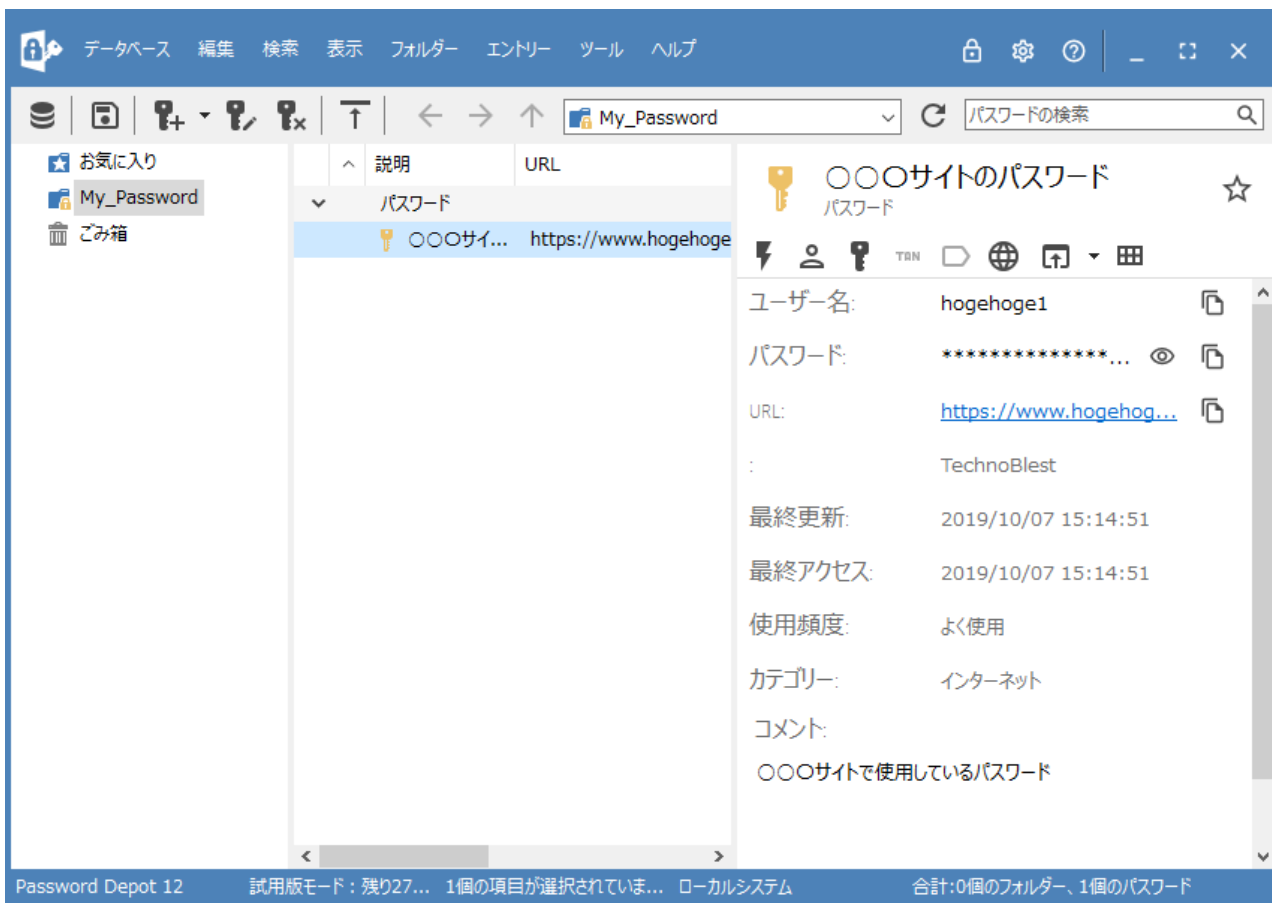


URL タブでは、Web サイトの URL を設定することができます。

Password Depot のメインウインドで「URL を開く」を押した場合に、ここで設定された URL がブラウザで開きます。

また、右下の「+」ボタンをクリックすることで URL の関連付けを設定することができます。この画面のように「hogehoge.com」については、この情報を使用するというようなワイルドカードを使用した関連付けが可能となります。

Web サイトのパスワードでは、以上で基本的な設定が完了となり、メインウインドウに追加したパスワード情報が表示されます。



メインウィンドウでは、追加したパスワード情報が表示され、使用する準備が整いました。

ファイルパスワード

パスワード保護された圧縮ファイルやパスワード保護された Office ドキュメントのパスワードを管理することができます。Password Depot ヘファイルの場所、パスワードを登録することで、ファイルの呼び出しとパスワード管理が可能となります。

「パスワードの追加」ボタンをクリックします。

同様の操作は、編集メニュー → 新規 → パスワードからも行うことができます。

新しいエントリ

全般 URL 追加 カスタムフィールド TAN番号 添付ファイル 履歴

説明: ○○○ドキュメントエクセルファイル

ユーザー:

パスワード: ●●●●●●●●●●

長さ: 9文字、エントロピー: 30ビット、辞書の類似度: 100.00 %
パスワードは辞書攻撃に対して脆弱です。

カテゴリ: Windows

重要語: 中

有効期限: 2019/10/07 展開

Tags:

コメント: パスワード保護されたエクセルファイル

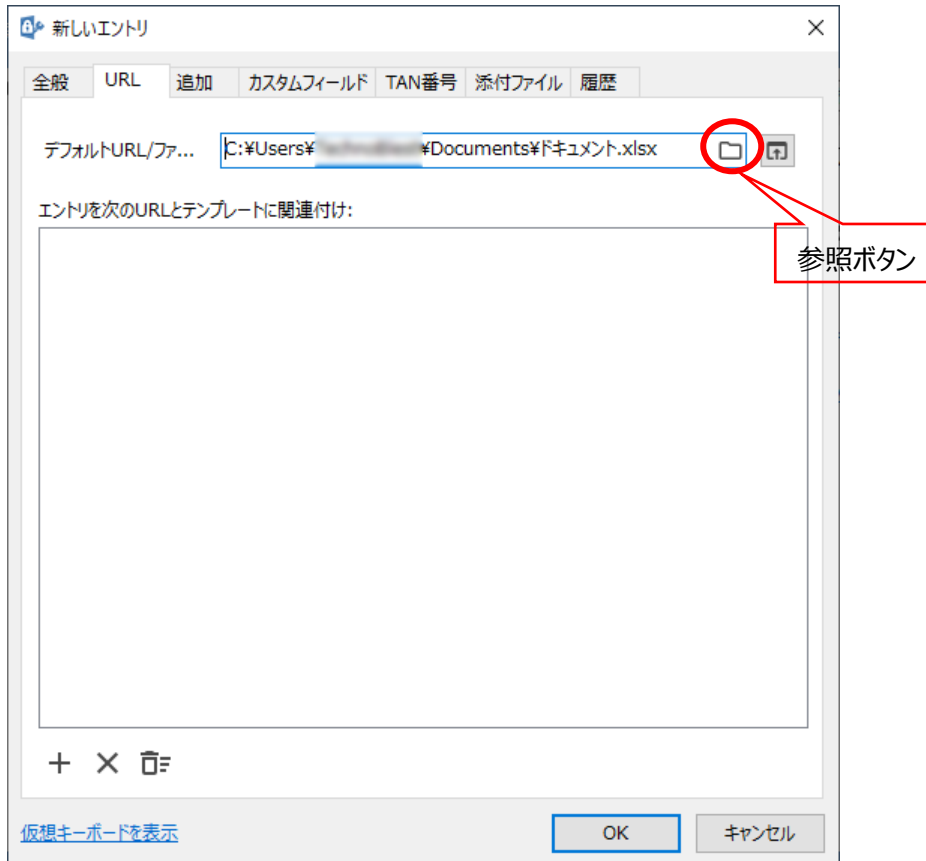
仮想キーボードを表示 OK キャンセル

各項目を必要に応じて入力してください。

- 説明
このパスワードの名前となります。一覧表示の説明欄に表示されます。
- ユーザー
ファイルを開くためにユーザー名が必要な場合は、ユーザー名を入力してください。
- パスワード
このファイルを開くためのパスワードを入力してください。「目印」のアイコンをクリックするとパスワード表示することができます。
「パスワード生成」ボタンをクリックすると、強固なパスワード生成を手助けするパスワード生成機能を開くことができます。
- カテゴリ
このパスワード情報のカテゴリを選択することができます。カテゴリは、編集メニューのカテゴリから追加や変更を行うことができます。
- 重要度
このパスワードの重要度を選択することができます。
- 有効期限
パスワードの有効期限がある場合、ここで有効期限の情報を選択することができます。

- Tags
タグを入力することができます。
- コメント
このパスワードに関するメモや情報を入力することができます。
- アイコンの変更
アイコンをクリックすることでアイコンを変更することができます。
アイコンは、Password Depot の標準アイコン以外にもお客様で用意した画像ファイルなどを使用することもできます。

URL タブ

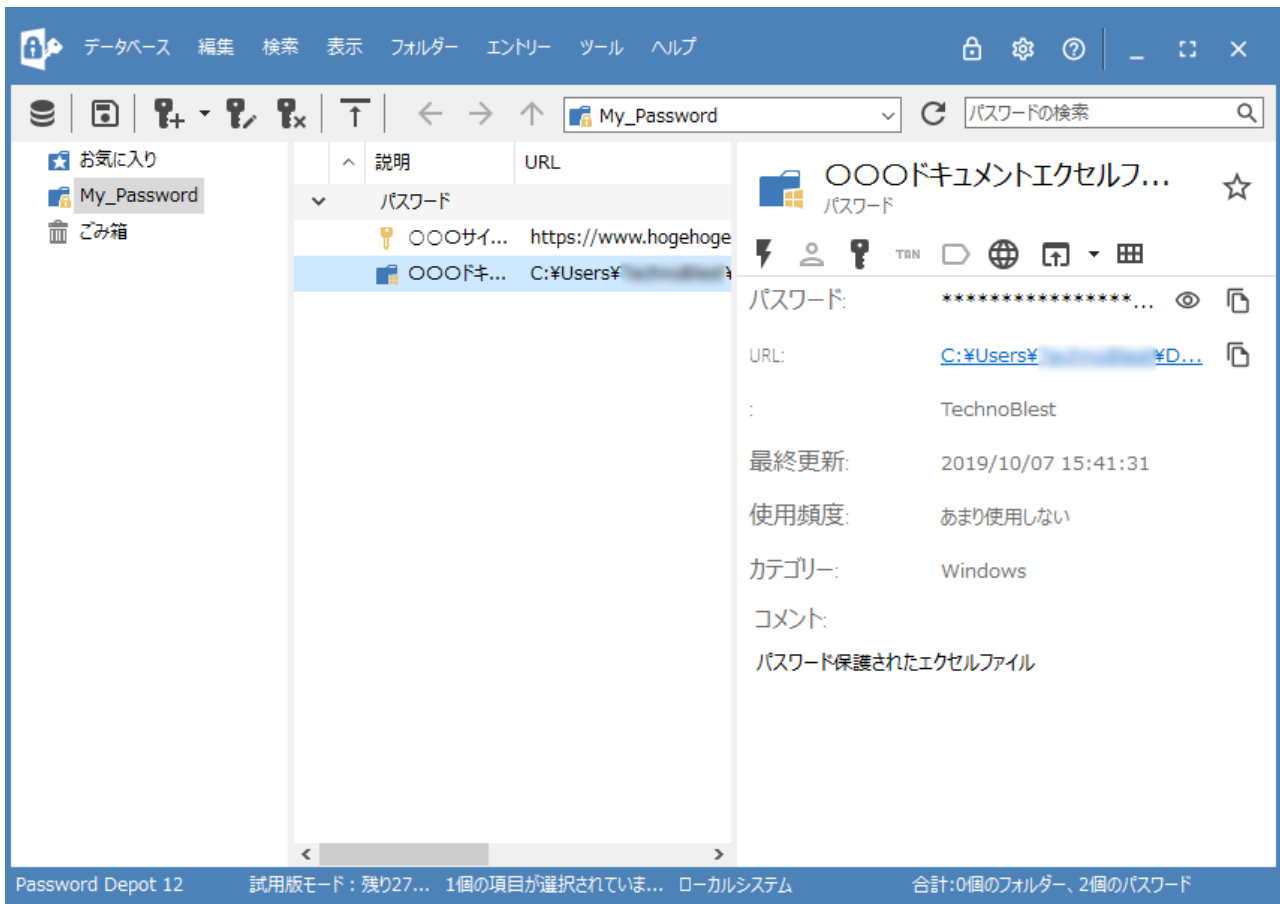


URL タブでは、ファイルの場所を指定することができます。

参照ボタンをクリックするとフォルダの参照をすることができます。

Password Depot のメインウインドで「URL を開く」を押した場合に、ここで設定された場所が Windows エクスプローラーで開きます。

ファイル用のパスワードでは、以上で基本的な設定が完了となり、メインウインドに追加したパスワード情報が表示されます。



メインウィンドウでは、追加したパスワード情報が表示され、使用する準備が整いました。

設定したパスワードの編集

設定したパスワード情報を変更するには、変更したいパスワードをクリックして編集ダイアログを表示して、変更したい内容を編集してください。

エントリを編集

全般 URL 追加 カスタムフィールド TAN番号 添付ファイル 履歴

説明: ○○○サイトのパスワード

ユーザー: hoge1

パスワード: ●●●●●●●●

長さ: 9文字、エントロピー: 30ビット、辞書の類似度: 100.00 %
パスワードは辞書攻撃に対して脆弱です。

カテゴリ: インターネット

重要語: 中

有効期限: 2019/10/07 展開

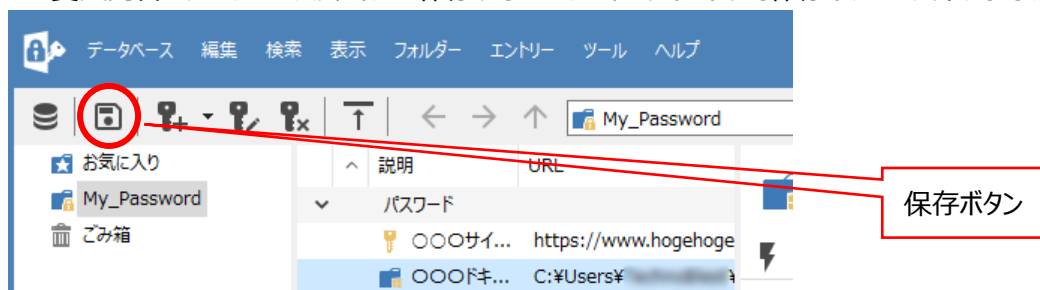
Tags:

コメント: ○○○サイトで使用しているパスワード

仮想キーボードを表示 OK キャンセル

変更後は、OK ボタンで変更内を適用してください。

また変更内容をデータベースファイルへ保存するには、メインウィンドウで保存ボタンをクリックしてください。



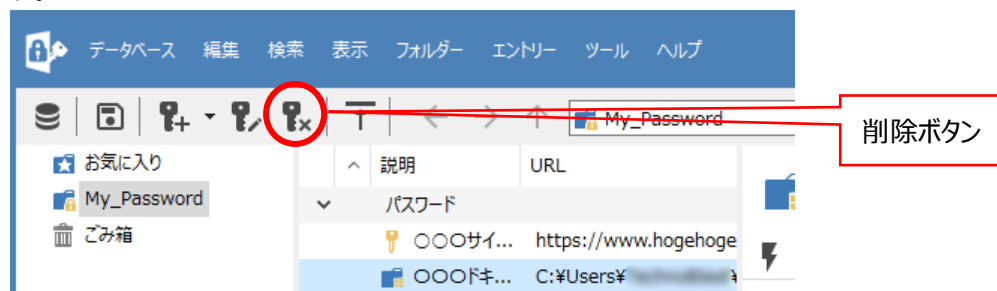
ヒント

デフォルトでは、変更時にデータベースを自動保存する設定となっていますが、より確実に変更内容を保存するために保存ボタンをクリックいただくことをお勧めいたします。

自動保存の設定は、オプションの保存から設定することができます。

設定したパスワードの削除

設定したパスワードを削除するには、削除するパスワードを選択して削除ボタン、または編集メニューから「削除」を選択してください。



削除されたパスワードは、ゴミ箱に移動します。

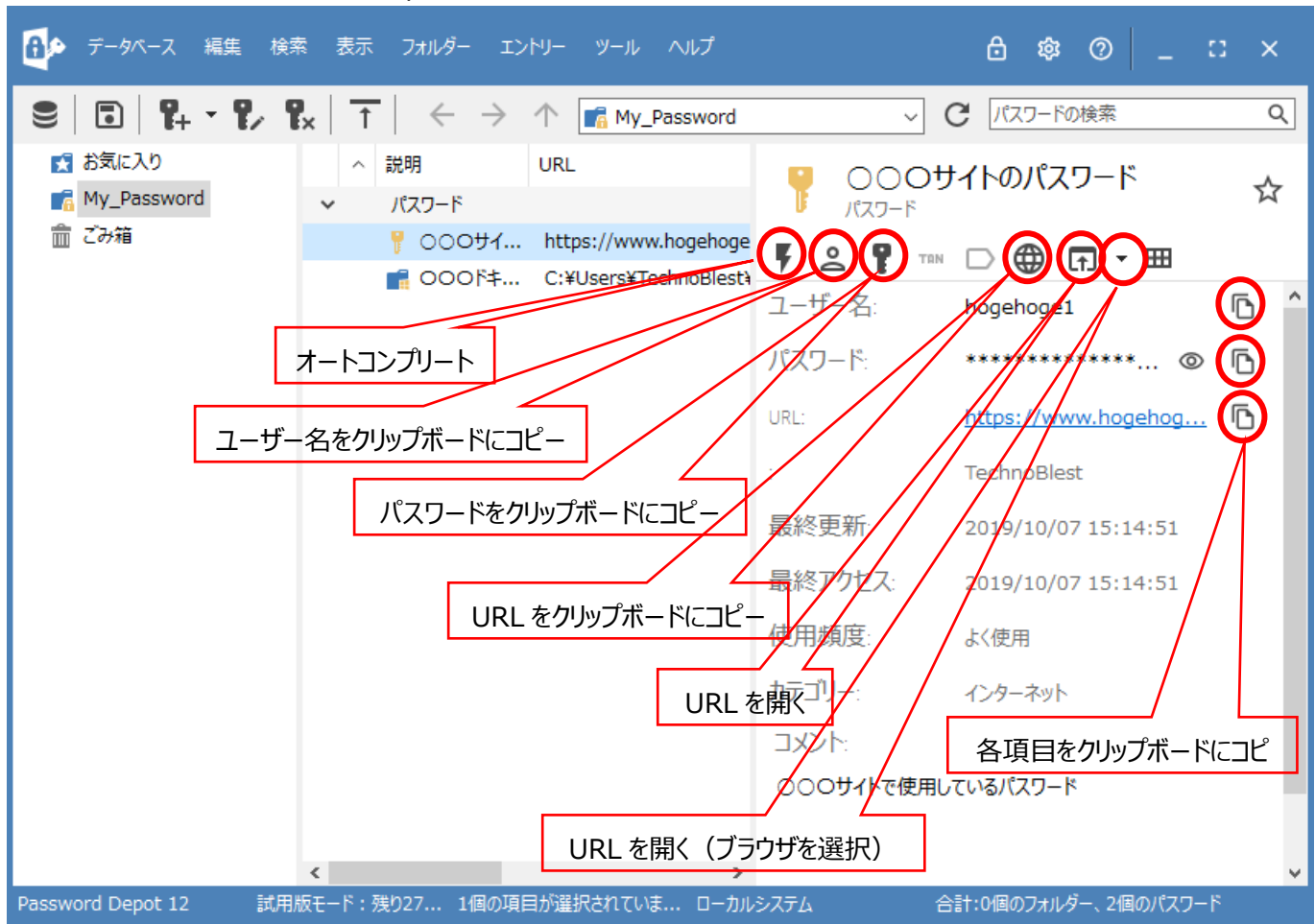
完全に削除する場合は、ゴミ箱を開き、削除するパスワードを選択して「削除」を行ってください。

ゴミ箱から元に戻す場合は、元に戻すパスワードを選択して、右クリックで表示されるメニューから「元に戻す」を選択してください。

パスワードの使用

作成したパスワード情報を使用します。

設定した認証方法で Password Depot のデータベースを開き、メインウィンドウを表示します。



Password Depot で保全されたパスワード情報を使用するには、いくつかの方法があります。

メインウィンドウからは、各項目をクリップボードにコピーすることができます。

- ユーザー名をクリップボードにコピー
- パスワードをクリップボードにコピー
- URL をクリップボードにコピー
- ユーザー名、パスワード、URL 横のクリップボードにコピーボタン

これらのボタンをクリックするとクリックしたボタンの項目がクリップボードにコピーされます。Web サイトの入力欄で右クリックを行い表示される Windows メニューの「貼り付け」、または入力欄で「Ctrl+v」（貼り付け）を使用すると内容をペースト（貼り付け）することができます。

💡 ヒント

クリップボードにコピーしたパスワードを保持する時間をオプション内のクリップボード設定から設定することができます。デフォルトでは、クリップボードにコピーされたパスワードは、1 分でクリップボードから削除されます。

URL を開く

「URL を開く」をクリックするとブラウザを開始して、設定されている URL を開きます。

同様に「URL:」の右側に表示されている URL のリンクをクリックしてもブラウザを開始して設定されている URL を開くことができます。

💡 ヒント

オプション内のブラウザから Password Depot が使用する規定のブラウザを選択することができます。

URL を開く (ブラウザの選択)

URL を開く際に使用するブラウザを選択することができます。(インストールされているブラウザが一覧で表示されます。)
サイトによって使用するブラウザを変更する場合に便利な機能です。

オートコンプリート

オートコンプリートをクリックすると、オートコンプリートシーケンスで設定された内容に従い、各項目の自動入力を行うことができます。

デフォルトのオートコンプリートシーケンスは、<USER><TAB><PASS><ENTER>となっており、ユーザー名の入力、タブキー、パスワードの入力、エンターを自動的に処理します。

使用するためには、Web サイトの場合、ブラウザで対象となるページを開き、オートコンプリートボタンをクリックします。マウスカーソルに稲妻のアイコンが付きオートコンプリートダイアログが表示され利用可能な状態となりますので、入力欄 (ユーザー名の欄) にマウスカーソルを移動してクリックします。これによりオートコンプリートが実施されます。

オートコンプリートの実行内容は、エントリの編集、「追加」タブで設定することができます。

エントリを編集

全般 URL 追加 カスタムフィールド TAN番号 添付ファイル 履歴

コマンドラインパラメータ:
ローカルファイルを開くために使用されるパラメータ文字列を入力

オートコンプリートシーケンス:
<USER><TAB><PASS><ENTER> 構成

オートコンプリートの方法:
グローバル設定を使用

優先ブラウザ:
<デフォルト ブラウザ>

プライベートブラウジングモードでURLを開く

2番目のパスワードを使用 2番目のパスワードを変更

ブラウザアドオンでエントリを使用 ウェブフォームデータの更新

このエントリにパスワードポリシーはありません

仮想キーボードを表示 OK キャンセル

ヒント

ファイルパスワードで使用する場合は、通常パスワードのみの設定が多いと思われるので、パスワードシーケンスを<PASS><ENTER>とすることでパスワードを入力してエンターキーを押すという動作になります。

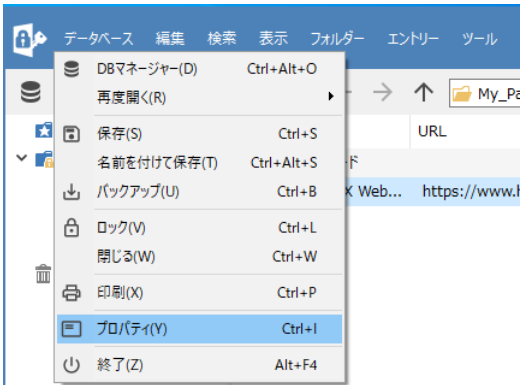
ファイルパスワードの利用方法としては、「URL を開く」をクリックしファイルを開きます。ファイルパスワードの入力ダイアログが表示されるので、オートコンプリートをクリックしてパスワードの入力欄をクリックすることで、Windows エクスプローラやパスワードを手入力することなくファイルを開くことができます。

また、オプション → 動作 → オートコンプリート内で「最初にパスワードの URL を開く」を有効にすることでオートコンプリートボタンを押したときに規定のブラウザで設定された URL を開くこともできます。

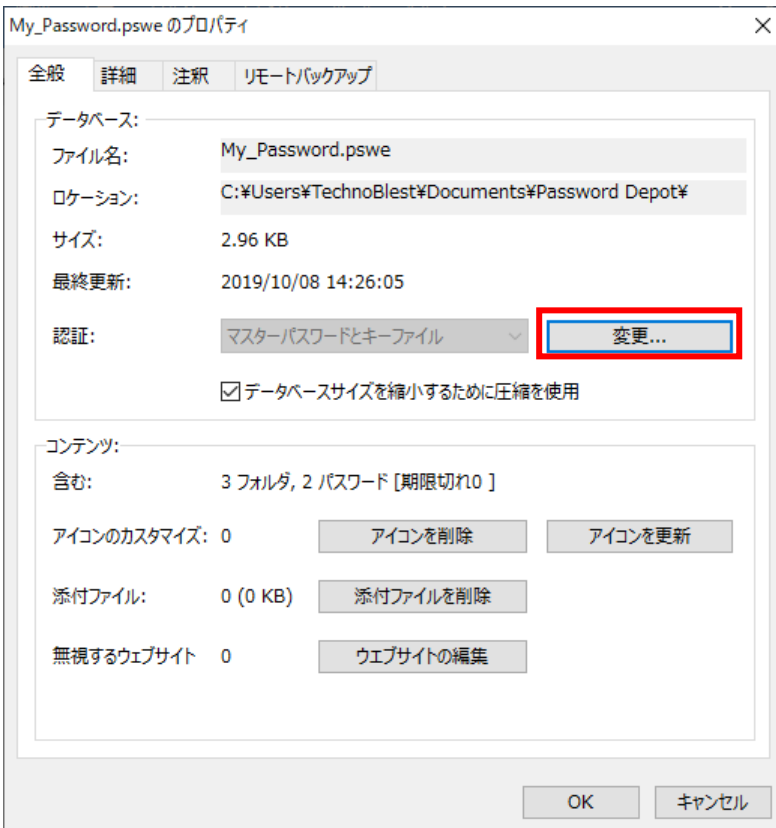
マスターパスワードの変更、認証方法の変更

ご注意：変更を実施する前には、必ずバックアップを実施して、バックアップしたファイルを影響のない場所に保存いただくことをお勧めいたします。これは、変更後に正しくデータベースが開けない場合や変更が誤っていた場合に元に戻すために必要です。

データベースファイルのマスターパスワード、または認証方法を変更するには、変更を行うデータベースファイルを開いた状態で、データベースメニューからプロパティを選択します。



データベースのプロパティダイアログが表示されます。



「変更」ボタンをクリックします。

「認証設定を変更」ウィザードが表示されますので、指示に従い変更を行ってください。

認証設定を変更

認証設定を変更

現在のマスターパスワードまたはキーファイル名、あるいはその両方を入力してください。

古いマスターパスワード:

古いキーファイル:

[仮想キーボードを表示](#) < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

変更が完了いたしましたら、Password Depot を終了、またはデータベースをロックして再度データベースファイルを開き、正しく変更が適用されているかをご確認ください。

オプション

Password Depot のオプションでは、Password Depot を使用するための様々なオプションを持っています。オプションは、編集メニューのオプション、またはメインウィンドウのオプションボタンから開くことができます。



全般

オプション

全般

動作

トップバー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザ

警告

ユーザーインターフェース

言語: Japanese

Icons: Monochrome

プログラムの起動:

開始モード: 通常のウィンドウ

ロックモードで開始

Windows開始時にアプリケーションを起動

遅延開始: 10 seconds

プログラム開始時に最後に使用したデータベースを開く

最近使用したファイルのリストを保存する

更新設定:

自動更新: アップデートをダウンロードしてインストールを促す

間隔 (日): 1

システム全体のホットキー:

元に戻す/最小化: Ctrl + Alt + P

トップバー/最小化: Ctrl + Alt + T

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

ユーザーインターフェース

◆ 言語

Password Depot で使用する言語を選択できます。

◆ Icons (アイコン)

Password Depot で使用するアイコンを選択できます。Colored を選択するとカラー（色つき）のアイコンが使用されます。

プログラムの起動

プログラムの起動では、Password Depot をどのように起動するかを選択することができます。

◆ 開始モード

Password Depot を起動した際にどのように起動するかを選択することができます。

- ◆ ロックモードで開始
Password Depot を起動した際にデータベースファイルを選択した状態ではなく、データベースファイルをロードしていないロックした状態で起動します。
- ◆ Windows 開始時にアプリケーションを起動
有効すると Windows 開始時に Password Depot を起動します。遅延開始を有効にして時間（秒）を選択することで指定した時間後に Password Depot を起動することができます。（遅延開始は、Windows のスタートアップに登録されたアプリケーションが多い場合になどに便利です。）
- ◆ プログラム開始時に最後にしようしたデータベースを開く
このオプションを有効にした場合、Password Depot 起動時に最後に使用されたデータベースを開きます。（データベースは、未認証の状態を開きますので、指定した認証情報で開く必要があります。）
- ◆ 最近使用したファイルのリストを保存する
パスワードデータベースが複数ある場合に、使用したデータベースをデータベースマネージャーの「最近使用したファイル」に保存します。

更新設定

更新設定では、Password Depot のアップデート方法、およびアップグレードの確認間隔を選択することができます。

システム全体のホットキー

Password Depot のホットキーを設定することができます。

動作

動作オプションでは、Password Depot の動作に関連するオプションを設定することができます。

オプション ×

| | |
|---|---|
| <p>全般</p> <p style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">動作</p> <p>トッパー</p> <p>パスワード</p> <p>保存</p> <p>クリップボード</p> <p>レイアウト</p> <p>ネットワーク</p> <p>ブラウザー</p> <p>警告</p> | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>オートコンプリート:</p> <p><input type="checkbox"/> 最初にパスワードのURLを開く</p> <p>ウインドウの位置 上部右</p> <p>オートコンプリート遅延: 150ミリ秒</p> <div style="border: 1px solid gray; width: 100%; height: 15px; margin-top: 5px;"></div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ダブルクリックの動作:</p> <p>動作 #1: パスワードを変更</p> <p>動作 #2: <何もしない></p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>プログラムの最小化:</p> <p><input type="checkbox"/> 次の時間プログラムが非アクティブな場合、自動的に最小化 1 分 00 秒</p> <p><input type="checkbox"/> 閉じるボタンがクリックされたときに最小化</p> <p><input type="checkbox"/> システムトレイに最小化</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>データベースを開いてプログラムをロック:</p> <p><input type="checkbox"/> コンピュータがアイドル状態のとき: 0 分 00 秒</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在のユーザー（セッション）が変わったとき</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> コンピュータがスタンバイ/休止状態モードに入ったとき</p> <p><input type="checkbox"/> プログラムが自動的に最小化されているとき</p> <p><input type="checkbox"/> 最小化されているときは常に</p> </div> |
| デフォルト設定に戻す OK キャンセル | |

オートコンプリート

- ◆ 最初にパスワード URL を開く
有効にした場合、オートコンプリートボタンがクリックされると Password Depot の規定のブラウザで設定された URL を開きます。
- ◆ ウィンドウの位置
オートコンプリートダイアログの表示位置を変更できます。
- ◆ オートコンプリートの遅延
オートコンプリートの遅延時間を設定できます。

ダブルクリックの動作

対象となるパスワードエントリーをダブルクリックした場合の動作を選択することができます。

プログラムの最小化

- ◆ 次の時間プログラムが非アクティブな場合、自動的に最小化
右のドロップダウンメニューで設定した時間、Password Depot が使用されなかった場合に、Password Depot を最小化します。
- ◆ 閉じるボタンがクリックされたとき最小化
閉じるボタンがクリックされたとき、Password Depot を終了せず最小化します。
- ◆ システムトレイに最小化
最小化する際に、システムトレイに最小化します。（選択しない場合、タスクバーに最小化されます。）

データベースを閉じてプログラムをロック

どのような場合に、データベースを閉じてパスワードロックした状態とするか設定できます。
コンピューターが他のユーザーに使用される場合や覗かれることを防止することができます。
目的に合わせてオプションを選択してください。

トップバー

トップバーオプションでは、Password Depot のトップバーの表示項目を設定することができます。

お客様のご使用状況に合わせてオプションを設定してください。

オプション ×

全般

動作

トップバー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザ

警告

位置:

フローティング 常に左上に表示

画面上部の端 常に上に表示

下部スクリーン端 自動的に隠す

モニター: #1をモニター

表示:

テーマカラーを使用

カラーグラデーションの設定 開始色: 終了色:

バーキャプションを表示

サーバーデータベースセレクトを表示

Show search box

バーの透明度 最大

ドロップダウンリストの長さ: 400

フォルダーフィールドの幅: 250

パスワードフィールドの幅: 250

検索フィールドの幅: 250

トップツールバーのカスタマイズ 大アイコン 小アイコン

デフォルト設定に戻す OK キャンセル

パスワード

パスワードオプションでは、主にオートコンプリートデフォルト設定、およびパスワード有効期限の警告に関する設定、およびパスワードアナライザーによる計算量を設定することができます。

オプション ×

- 全般
- 動作
- トップバー
- パスワード**
- 保存
- クリップボード
- レイアウト
- ネットワーク
- ブラウザ
- 警告

編集:

デフォルトのオートコンプリート方法:

デフォルトのオートコンプリートシーケンス:

デフォルトのパスワード有効期限:

期限切れのパスワードに対する警告を表示

有効期限が切れる前に警告する日数:

パスワードアナライザー:

推定される1秒当たりの計算量

デフォルト
 カスタマイズ

ワークステーション数:

1秒あたりの推定計算:

保存

保存オプションでは、データベースの保存、バックアップ、リモートデータベース使用時のコピーの取り扱い、作業ディレクトリの設定を行うことができます。

オプション

全般

動作

トッパー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザー

警告

保存とバックアップ

変更時にデータベースを自動保存する

データベース保存時にバックアップコピーを作成する

データベースオープン時にバックアップコピーを作成する

保存されているバックアップコピー数: 7

リモートデータベース:

リモートデータベースを閉じた後にローカルコピーを自動的に削除

Password Depot Enterprise Serverからデータベースのローカルコピーを保存する

作業ディレクトリ:

パスワード:
C:\Users\%user%\Documents\Password Depot

バックアップ:
C:\Users\%user%\Documents\Password Depot\Backup

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

保存とバックアップ

- ◆ 変更時にデータベースを自動的に保存する
有効にした場合、エントリー変更時に自動的にデータベースを保存します。
- ◆ データベース保存時にバックアップコピーを作成する
有効にした場合、データベースの保存がされると自動的にバックアップのコピーが作成されます。
- ◆ データベースオープン時にバックアップコピーを作成する
有効にした場合、データベースが開かれた際にバックアップのコピーを作成します。
- ◆ 保存されているバックアップコピー数
作成されるバックアップのコピー数を設定することができます。

リモートデータベース

リモートデータベースをしようした際にローカル作成されるコピーの取り扱いを選択することができます。

作業ディレクトリ

Password Depot が使用するデフォルトのディレクトリを指定することができます。

変更する場合は、右側の「参照」ボタンで場所を指定することができます。

デフォルトでは以下のように設定されています。

パスワード（パスワードデータベースファイル保存場所）

C:\Users\%user%\Documents\Password Depot

バックアップ（バックアップファイル保存場所）

C:\Users\%user%\Documents\Password Depot\Backup

クリップボード

クリップボードオプションでは、クリップボードにコピーされたパスワードの取り扱いを設定することができます。

オプション

全般

動作

トップバー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザー

警告

クリップボード:

次の後にクリップボードからパスワードを削除: 1分00秒

クリップボードモニターアラートを有効

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

◆ 次の後にクリップボードからパスワードを削除

設定した時間後にクリップボードからパスワード情報を削除します。

💡 ヒント

このオプションは、誤ってクリップボードにコピーされているパスワード情報を貼り付けてしまうことの防止やユーザー以外の第三者がコンピューターを使用して貼り付けを利用してパスワード情報を盗み見てしまう対策に有効です。短すぎる時間は、クリップボードからの貼り付けを利用できなくなる場合もありますので、ご注意ください。

◆ クリップボードモニターアラートを有効

有効にした場合、Windows の通知にアラートを表示します。

レイアウト

レイアウトでは、メインウィンドウに表示する項目を選択することができます。

オプション

全般

動作

トップバー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザー

警告

表示:

- 重要度
- 説明
- URL
- ユーザー名
- パスワード
- 種類
- 更新日時
- 有効期限
- カテゴリー
- コメント
- 最終アクセス

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

ネットワーク

ネットワークでは、Password Depot Enterprise Server を使用する場合のオプションを設定することができます。

オプション

全般

動作

トッパー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザー

警告

Enterprise Server:

デフォルトの認証モード: ユーザー名とパスワードでサインイン

インターネットプロトコルのバージョン: 自動

ネットワークエラーが発生した場合の自動再接続

再接続までの間隔 (秒): 30

再接続試行回数: 3

SSL/TLS設定

Password Depot ServerへのSSL/TLS接続を使用

サーバー証明書を確認

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

ブラウザ

ブラウザオプションでは、Password Depot が使用するブラウザの設定を行うことができます。

オプション

全般

動作

トッパー

パスワード

保存

クリップボード

レイアウト

ネットワーク

ブラウザ

警告

インターネットブラウザ:

既定のブラウザ (F5): Google Chrome

その他のブラウザ...

ブラウザアドオン:

アドオンを使用してWebフォームを自動入力

トッパーのパスワードを自動的に選択

Webブラウザから新しいパスワードを追加

異なるURLに対する同一のパスワードについて警告する

次の場所にある[パスワードの選択]ダイアログボックスを自動的に閉じる: 10 秒

WebSocketsポート: 25109

オンラインのアドオン:

[Mozilla Firefox - Password Depot拡張機能](#)

[Google Chrome - Password Depot拡張機能](#)

デフォルト設定に戻す

OK

キャンセル

インターネットブラウザ

◆ 規定のブラウザ(F5)

規定のブラウザでは、Password Depot がデフォルトで使用するブラウザを選択することができます。

<System Default> を選択した場合、Windows で設定されている規定のブラウザが使用されます。

「その他のブラウザ」ボタンをクリックすると一覧に表示されないブラウザを追加するための「Web ブラウザのカスタマイズ」ダイアログが表示されます。特定のブラウザを使用する必要がある場合、こちらの「その他のブラウザ」オプションからブラウザを追加してください。

ブラウザアドオン

ブラウザの拡張機能（アドオン）をブラウザにインストールした場合の動作を設定することができます。

💡 ヒント

Password Depot は、現在 Mozilla Firefox と Google Chrome の拡張機能をサポートしています。

「オンラインのアドオン」から表示されているリンクをクリックすることで、各ブラウザの拡張機能（Firefox Add-ons の Password Depot Add-On ページ、chrome ウェブストアの Password Depot Extension ページ）を開きます。

使用する場合は、ブラウザで Password Depot 拡張機能をブラウザに追加してください。

※これらの拡張機能は、AceBIT GmbH 社から提供され英語のみの対応となります。弊社では動作に関して、確認をしておりますが、サポートを行えない場合がございますことをご了承ください。

ご注意：ブラウザアドオンを使用する場合のご注意

ブラウザアドオンは、先に Password Depot が開始されデータベースが開かれている場合に、開かれているデータベース内のエントリが使用されます。

- ◆ アドオンを使用して Web フォームを自動入力
ブラウザでアドオンが有効な場合、対象となるエントリーのページを開いた場合に、アドオンにより Password Depot で設定されている情報を自動的に入力します。
- ◆ トップバーのパスワードを自動的に選択
プログラムがトップバーモードに設定されている場合、ブラウザに URL を手動で入力すると、プログラムは対応するパスワードを自動的に選択します。
- ◆ Web ブラウザから新しいパスワードに追加
開いている Web ページのパスワード情報が Password Depot で未エントリーの場合、Password Depot に情報を追加するかを促すダイアログを表示します。
- ◆ 異なる URL に対する同一パスワードについて警告する
異なる URL で同じパスワードが使用されている場合に警告を表示します。これはサイトで同一のパスワードが設定されることを防止します。
- ◆ 次の場所にある[パスワードの選択]ダイアログボックスを自動的に閉じる
URL で複数のパスワード情報などがある場合に表示される「パスワードの選択」ダイアログボックスを閉じる時間を設定することができます。(デフォルトは、10 秒です)
- ◆ WebSockets ポート
パスワードデポの WebSocket のポートを設定または変更できます。Password Depot 12 のデフォルトポートは 25109 です。(ブラウザの拡張機能と通信をするための WebSocket ポートとなります。必要がない場合、変更を行わないでください。)

オンラインのアドオン

それぞれのリンクから Mozilla Firefox と Google Chrome の拡張機能ページをブラウザで表示します。

警告

警告オプションでは、Password Depot が警告を行う内容を設定することができます。

オプション

全般 表示する警告を選択:

動作 弱いマスターパスワードです。

トップバー 安全なFTPプロトコルを使用することをお勧めします。

パスワード ディスク上の暗号化データの抽出

保存 ルートフォルダ内のパスワードが多すぎます。

クリップボード パスワードファイルが大きすぎます。

レイアウト クリップボードにコピーされたデータ

ネットワーク Password Depotがロック状態で実行されています。

ブラウザ Password Depot Enterprise Serverから切断されました

警告 Moving of not-empty folders

すべてチェック チェックを外す

デフォルト設定に戻す OK キャンセル

ご利用の環境にあわせて選択してください。

デフォルト設定に戻すボタン

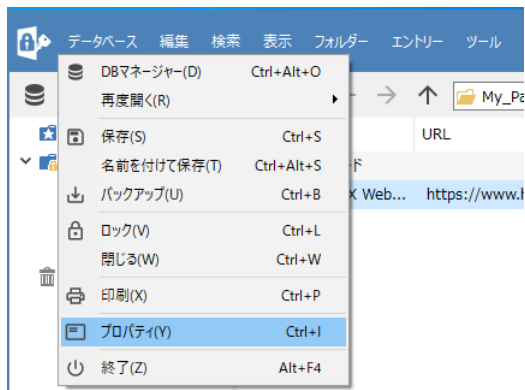
オプションダイアログに表示されている「デフォルトに戻す」ボタンをクリックすると、すべてのオプション設定をデフォルトに戻すことができます。

ご注意： 警告ダイアログなどは表示されません。ボタンを押すとすぐに、すべてのオプション設定がデフォルトに戻されます。

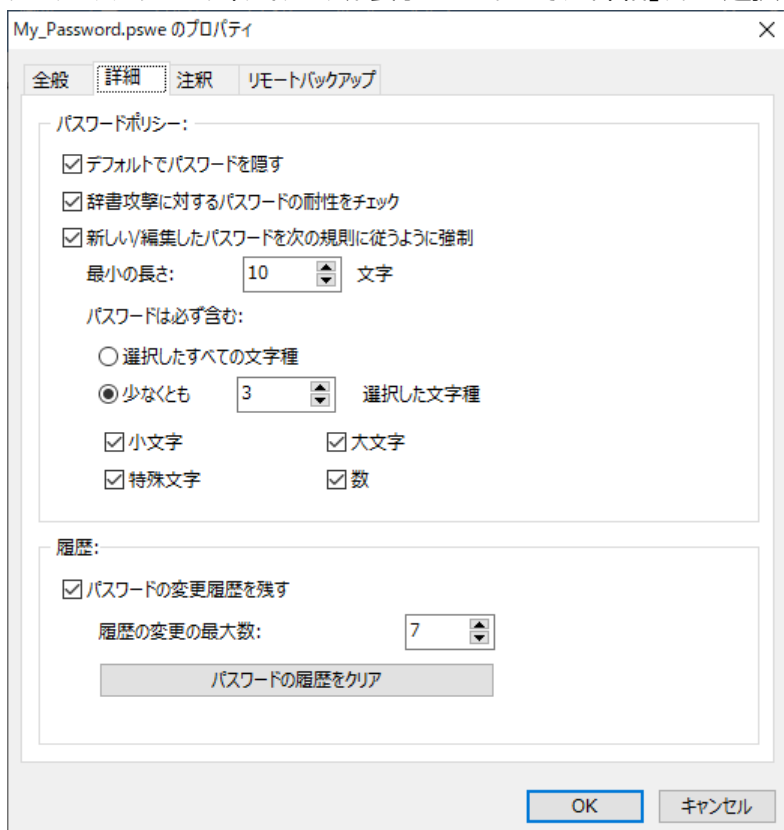
データベースファイルの詳細設定（パスワードポリシー）

データベースのプロパティ、詳細タブでは、そのデータベースのパスワードポリシーや履歴の設定をおこなうことができます。

データベースファイルを開いた状態で、データベースメニューからプロパティを選択します。



データベースのプロパティダイアログが表示されますので、「詳細」タブを選択します。

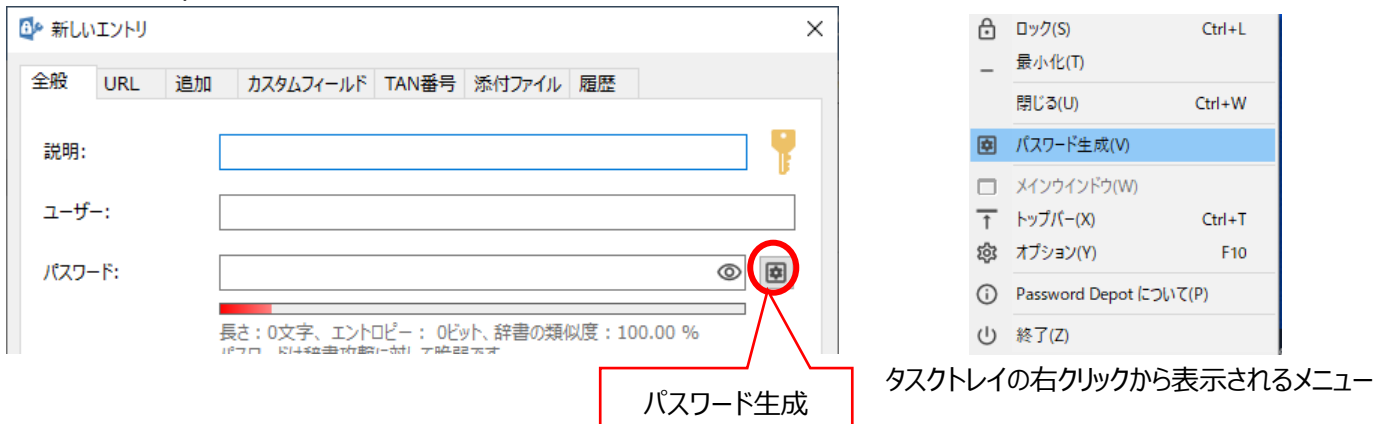


データベースのパスワードの表示や文字数など、データベースでのパスワードポリシー、および履歴の設定を行うことができます。ご希望に合わせて設定を変更してください。

便利な機能

パスワード生成機能

Password Depot は、より安全なパスワード生成を手助けするパスワード生成機能を持っています。パスワード生成機能は、パスワードエントリーダイアログのパスワード欄横のボタン、およびタスクトレイに表示されている Password Depot アイコンの右クリックから開くことができます。



新しいパスワードエントリーを作成する際や既存のパスワードエントリーでパスワードを変更する場合には、エントリーのダイアログから利用すると、そのまま生成したパスワードを使用することができます。タスクトレイの右クリックメニューから利用できるパスワード生成は、一時的にパスワードを作成する場合や他のアプリケーションで使用するパスワードを生成する場合に便利です。

パスワード生成ダイアログ

The image shows the 'パスワード生成機能' (Password Generation Function) dialog box. It has two tabs: '標準' (Standard) and '詳細' (Detailed). The '標準' tab is active, showing options for character types: '小文字' (Lowercase), '大文字' (Uppercase), '数字' (Numbers), and '特殊文字' (Special Characters). There are also checkboxes for '似たような文字を除外する' (Exclude similar characters) and 'パスワードポリシー' (Password Policy). A 'パスワード:' field shows a generated password with a length of 8 characters and an entropy of 48 bits. A 'ランダムなデータを生成するためにこの領域の上でマウスを動かします:' (Move the mouse over this area to generate random data) instruction is followed by a green terminal-style background with random characters. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

パスワードに使用する文字の種類を選択してください。
Web サイトによっては、特殊文字を禁止するケースなどもありますので、条件に合わせて選択することができます。

パスワードの文字数を設定してください。
Web サイトによっては、最低文字数や最大文字数を規程指定場合があります。
表示ボタンで生成されたパスワードを表示することができます。また、コピーボタンでクリップボードにコピーできます。
パスワードの詳細が、パスワード欄の下に表示されます。

指定した条件でパスワードを生成するには、このエリア内でマウスを動かしてください。
条件に一致したランダムなパスワードデータを生成します。

生成されたパスワードを使用する場合には OK ボタンをクリックして終了します。
タスクトレイの右クリックメニューから起動している場合は、OK ボタンで生成機能を終了します。

詳細タブでは、より詳細な条件でパスワードを生成することができます。

バックアップ

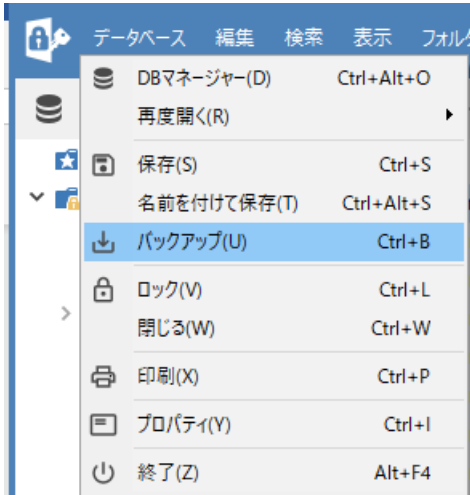
Password Depot は、自動的にデータベースのバックアップを行います。

バックアップが実施される条件や保存数は、[オプションの保存設定](#)から設定することができます。

デフォルトでは、ドキュメントフォルダの Password Depot 内にある Backup フォルダに作成されます。(C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥Documents¥Password Depot¥Backup)

より安全なバックアップを必要とする場合は、バックアップされたファイルを安全な場所に保存してください。

また、設定された条件以外に手動でバックアップを実施したい場合、データベースメニューの「バックアップ」から手動でバックアップを行うことができます。(オプションで設定された場所にバックアップを作成します。)



バックアップファイルは、.bckd ファイルで作成されます。

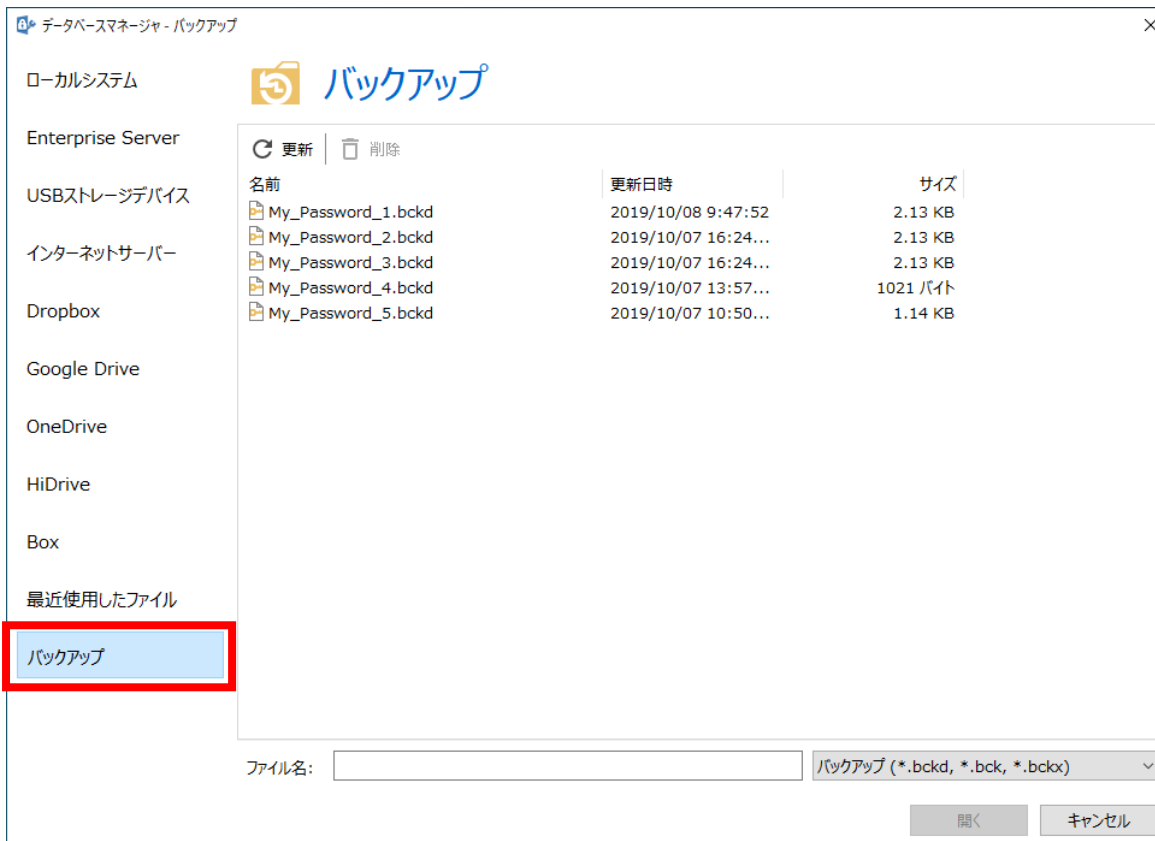
バックアップからの復元

バックアップされた内容を復元するには、データベースマネージャーを使用します。

名ウインドのデータベースアイコン、またはデータベースメニューから DB マネージャーをクリックします。



データベースマネージャーが開きますので、左側の一覧より「バックアップ」を選択します。



バックアップフォルダにあるバックアップファイルが表示されますので、復元するファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。通常のデータベースを開く場合と同様に認証ダイアログが表示されますので、そのデータベースで設定されている認証情報で認証してデータベースを開きます。

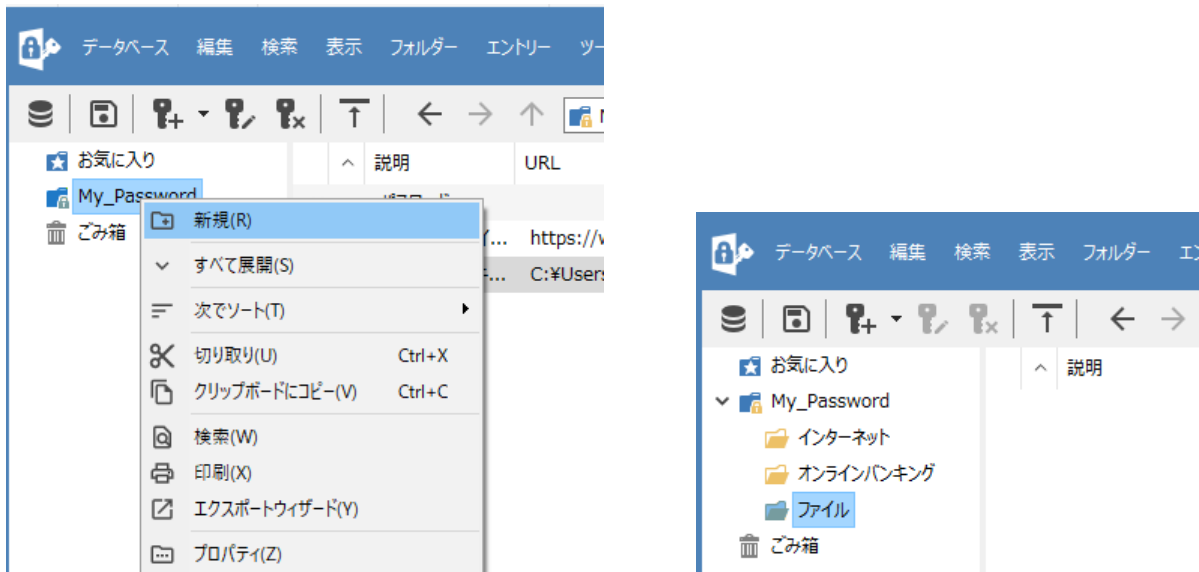
現在は、.bckd ファイルを開いている状態になりますので、データベースメニューの「名前を付けて保存」より、データベースファイルを保存する場所に「PSWE データベース (*.pswe)」ファイルで保存をしてください。

以上でバックアップからの復元は完了となります。

フォルダの作成

保存されているパスワード情報が増えた場合、メインウインドでフォルダを作成し、目的や種類別にフォルダによる仕分けを行うと便利です。

フォルダの作成は、データベースの上部で右クリックを行うことで表示されるメニューから「新規」を選択することで追加することができます。

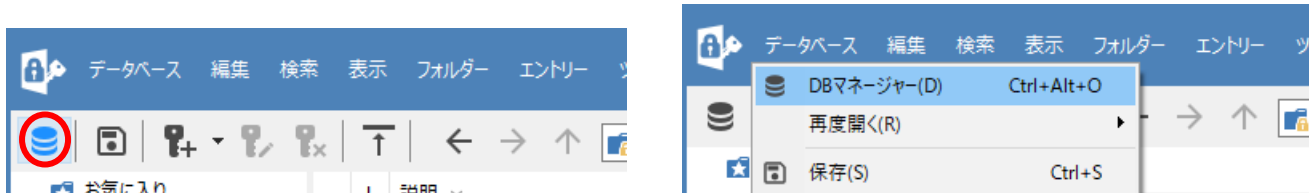


フォルダには、ドラッグアンドドロップでエントリを移動することができます。また、エントリー一覧で右クリックを行い、「切り取り」と「貼り付け」を利用することもできます。

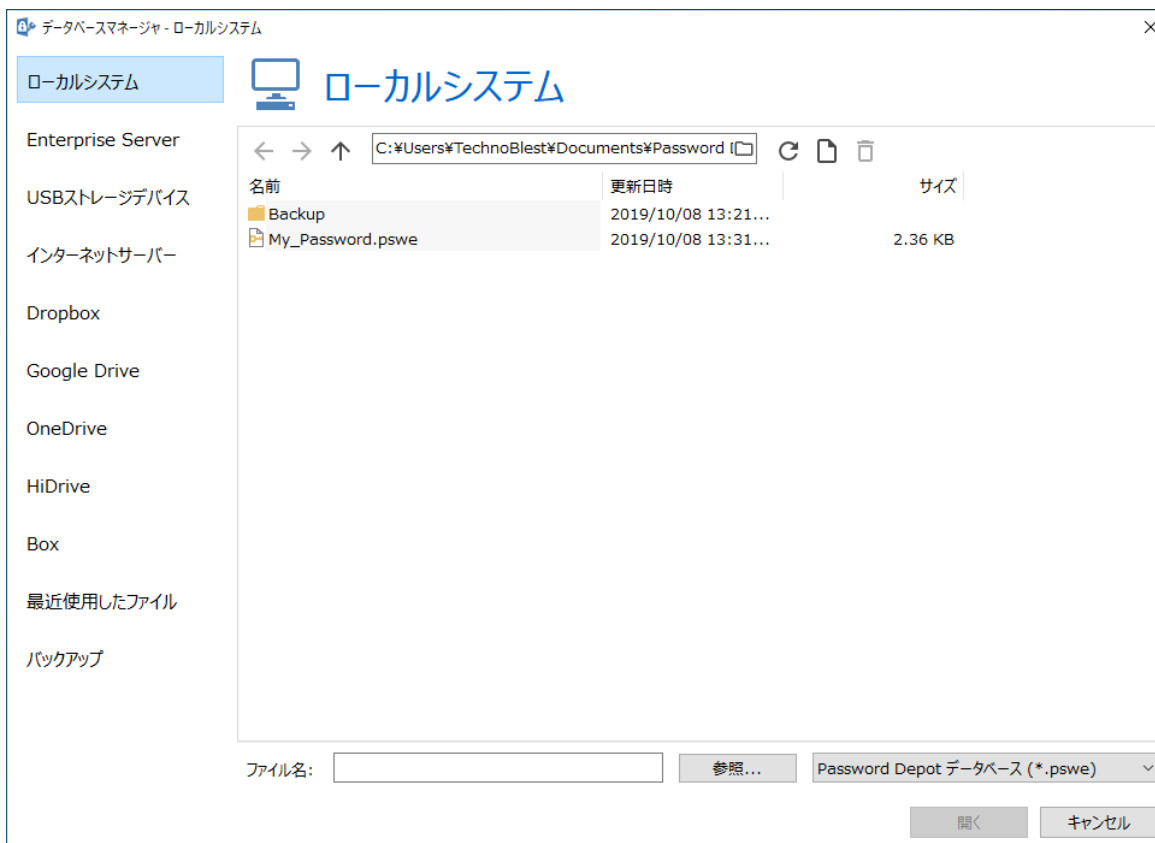
データベースの切り替え

複数のパスワードデータベースを使用する場合、データベースマネージャーから使用するデータベースを選択して開くことができます。

名ウインドのデータベースアイコン、またはデータベースメニューから DB マネージャーをクリックします。



データベースマネージャーが開きます。



左側からパスワードデータベースが保存されている場所を選び、開くデータベースファイル（.psw）ファイルを選択してください。

ヒント

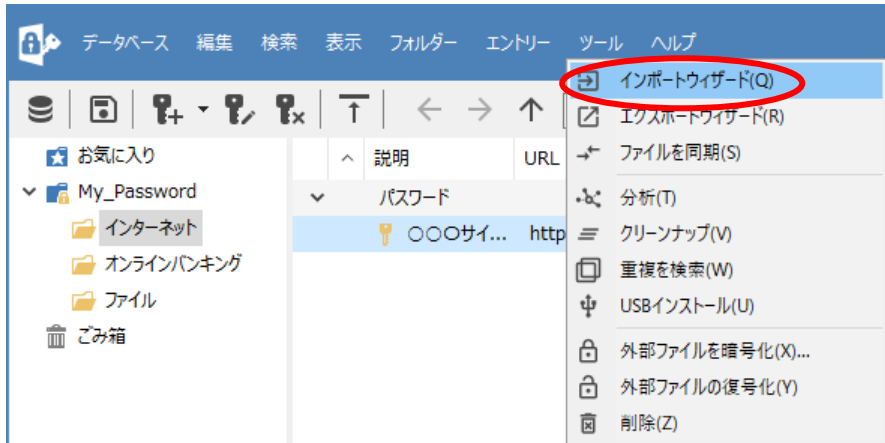
同時に複数のデータベースファイルを開くことはできません。開くことができるデータベースファイルは、1 つまでとなります。

インポート

Password Depot は、他社製品や CSV 形式のファイルからインポートする機能を持っています。

インポートは、ツールメニューの「インポートウィザード」より行うことができます。

ご注意：インポートを実施する前には、必ずバックアップを実施して、バックアップしたファイルに影響のない場所に保存いただくことを強くお勧めいたします。これは、インポートされた内容が正しくなかった場合や意図したインポートを行えなかった場合に元に戻すために必要です。



インポートウィザード

- ◆ インポート形式
ドロップダウンメニューからインポートするファイル形式を選択してください。
- ◆ ソースファイル
参照ボタンを使用してインポートするファイルを選択してください。
- ◆ ターゲットフォルダー
ドロップダウンメニューからデータベースのインポートする場所を選択してください。

選択が完了したら「次へ」をクリックします。

ファイル形式によりインポートの確認画面が表示されます。（日本語が正しく表示されない場合がありますが、インポートされる内容に影響がない場合がほとんどです。内容はインポート後に編集することができます。）

ウィザードの指示に従いインポートを完了してください。

インポートが完了すると指定したターゲットフォルダーにパスワードが追加されます。

検索

パスワードエントリーが多くなった場合やエントリーから見つけれない場合、検索機能を使用すると便利です。



検索

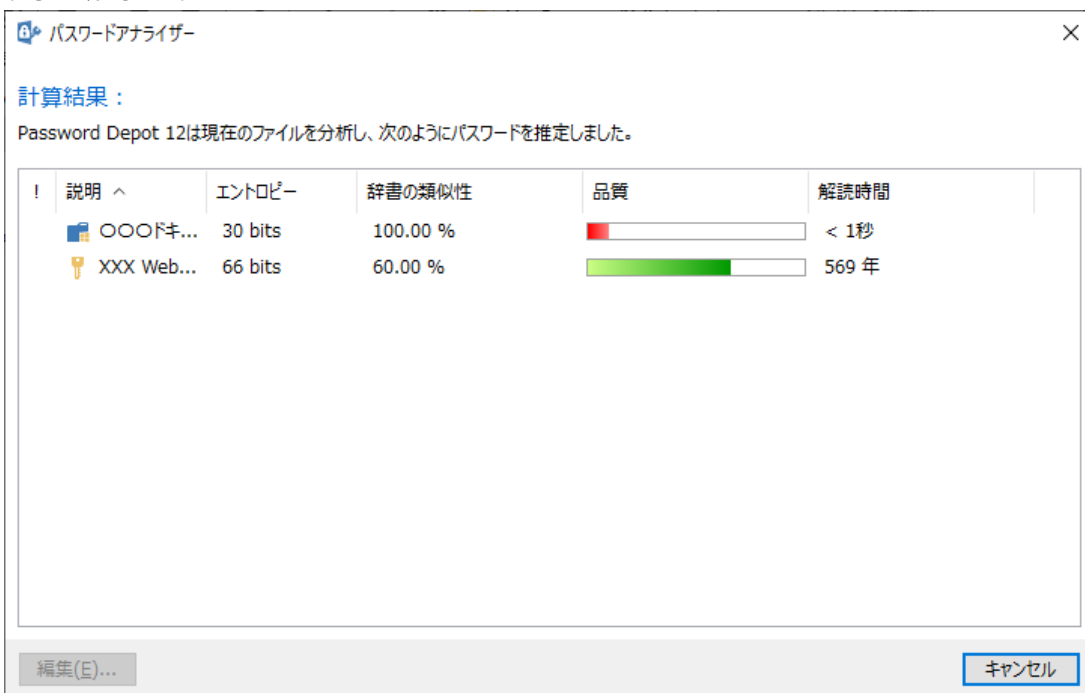
検索欄に探したいエントリーで設定されている文字などを入力してください。

見つかった場合、メインウィンドウに検索結果のみが表示されます。

検索では、ユーザー名、URL、コメントなどが対象となります。

分析（パスワードアナライザー）

ツールメニューの分析より使用できる「パスワードアナライザー」では、そのデータベースで持つパスワードの品質を一覧表示で確認することができます。



より安全なパスワードへ変更したい場合、一覧から変更を行いたいエントリーを選択して「編集」ボタンをクリックしてください。エントリの編集ダイアログが表示されます。

お問い合わせ

弊社での Password Depot の技術サポートは、ご購入をいただきましたお客様に限り、電子メールによる受付のみとなっております。

サポートの詳細な内容については、<https://www.password-depot.jp/support/> をご参照ください。

また、Password Depot の最新情報は、<https://www.password-depot.jp/> をご参照ください。

最新バージョンの Password Depot は、機能修正や機能追加を含みます。アップグレード可能な場合、最新バージョンへのアップグレードにより問題を解決できる場合もございます。お問い合わせをいただきます前に、最新バージョンへのアップグレードについてもご検討ください。

お問い合わせをいただきます場合、以下の内容をお送りくださいますようお願い申し上げます。

お客様情報を確認できない場合、サポートを承ることができない場合がございますことをご了承ください。

- 会社名、お名前、ご連絡先（メールアドレス、お電話番号）（必須）
- ご購入日、ご購入店名
- ライセンスキー情報
- 詳細なバージョン情報
- ご利用いただいております OS
- お問い合わせ内容（できるだけ詳細にご記載ください。）

お問い合わせをいただく内容によっては、弊社よりご連絡をさせていただく場合がございます。必ずご連絡先の電話番号をお書き添えください。

※ご購入情報を確認できない場合、ご回答をさせていただくことができない場合がございますことをご了承ください。

※最新バージョンへアップグレードいただけない場合、サポートをご提供できない場合がございますことをご了承ください。

※ご回答までに 2～3 営業日ほどお時間をいただきますことをご了承ください。

※ご回答いたしました内容に基づき直接的、間接的に発生した損害については弊社では一切責任を負いませんのでご了承ください。

※お問い合わせをいただきました内容の解決をお約束するものではありません。

※お送りをいただきました電子メールに含まれます情報は、弊社個人情報の取り扱いに関するポリシーに基づき適切に取り扱いたします。

お問い合わせ先：

テクノプレスト株式会社 <https://www.technoblest.com/>

TEL： 042-705-1890（販売に関するお問い合わせ）

電子メール：support@technoblest.com（技術サポート）、sales@technoblest.com（販売に関して）

お問い合わせ受付時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00（祝祭日など弊社の非営業日を除きます）

2019年10月作成

テクノブレスト株式会社



※本書の内容は全ての動作を保証するものではありません。また、本書を使用して発生いたしました問題に関しましては、弊社は一切の責任を負いません。内容は予告なしに変更される場合がございます。本書の内容を変更、転載する事はできません。テクノブレスト株式会社の許諾なく、本ガイドに含まれる情報を使用または第三者に開示しないものとします。ガイドをご覧くださいませお客様はこの内容に同意いただいたものとなります。著作権はテクノブレスト株式会社にあります。